

千葉胤成文書

凡例:「番号」欄の「+」は見出し項目を意味し、詳細はその下に表示している。「資料名」欄の〔 〕内は資料整理者が付した注記である。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I			研究・教育関係	論文や講義の原稿およびそれらに関するメモ等。			昭和10年代～昭和40年代		727点	
I	1		[原稿]固有意識		千葉胤成		昭和14年12月11日	メモ	1冊(190枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載、箱入り/箱に「32固有意識/昭和14年」とある/頁番号あり、1頁より184頁まで/意識的概念の発達についてのメモ4枚あり。
I	2	+	[原稿 田中秀雄著「武道の心理」序]	田中秀雄『武道の心理』(東宛書房、1942年)の序文原稿・下書き。	千葉胤成		昭和17年2月7日		2点	
I	2	1	[原稿 田中秀雄著「武道の心理」序]		新京観喜嶺建国大学 千葉胤成		昭和17年2月7日	原稿用紙	1点(8枚)	
I	2	2	[原稿 田中秀雄著「武道の心理」序 下書き]		千葉胤成		(昭和17年)	メモ	1点(4枚)	
I	3	+	[原稿]心理学における全と個の問題—新教育と全体精神—	(昭和22年10月、第11回日本心理学会報告)	千葉胤成		昭和22年10月		2点	
I	3	1	[原稿]心理学における全と個の問題—新教育と全体精神—		千葉胤成		昭和22年10月12日	メモ	1冊(95枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「原75(90) 昭和22年10月12日」とある/頁番号があり、90頁まで。
I	3	2	[原稿]心理学における全と個の問題—新教育と全体精神—日本心理学会にて		千葉胤成		昭和22年10月14日	メモ	1冊(20枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「昭和22年10月14日 日本心理学ニテ」とある/頁番号があり、18頁まで。
I	4		[原稿]近代心理学における基礎理論の展開—人と学説—	『現代の心理学』に改定の朱書きを加えたものと、増補原稿からなる。	千葉胤成		(昭和23年)	メモ	1冊(203枚)	
I	5		[原稿]技能遺伝の一例—遺伝心理学的研究—		千葉胤成		昭和23年8月23日	メモ	1冊(23枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「79.技能遺伝の一例—遺伝心理学的研究—/原19(22)/昭和23年8月23日」とある/頁番号があり、22頁まで。
I	6	+	[原稿]淡窓の跡を尋ねて	(昭和23年、仙台第四中学校)	千葉胤成		昭和23年3月17日～昭和25年6月7日		2点	
I	6	1	[原稿]淡窓の跡を尋ねて		千葉胤成		昭和23年3月17日	メモ	1冊(50枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「Ⅲ8.52.淡窓の跡を訪ねて/昭23.3.17;原48(48)」とある/頁番号があり、1頁より48頁まで。
I	6	2	[原稿]淡窓の跡を尋ねて		千葉胤成		昭和25年6月7日	メモ	1冊(47枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「52.淡窓の跡を訪ねて/昭23.3.17;原47(43)」とある/頁番号があり、1頁より43頁まで/43頁末に「昭和23年3月17日稿/25年6月7日写」とある。
I	7		[原稿]心理学の方法 特に全体心理学の方法について—主徴法を中心にして—		千葉胤成		昭和24年12月1日	メモ	1冊(20枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「64.心理学の方法 特に全体心理学の方法について—主徴法を中心にして—/昭24.12.1;原18(20)」とある/頁番号があり、20頁まで。
I	8		[原稿]固有意識と新教育(心理学における全と個の問題)		千葉胤成		昭和25年10月7日	メモ	1冊(15枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「51.固有意識と新教育/(心理学における全と個の問題)/32~45/昭和25年10月7日」とある/頁番号があり、32~45頁まで。
I	9		[メモ等]個性の分布(性格と気質)	信長・秀吉・家康・ムツリニ・ヒットラー・チャーチルの性格についてのメモ、行動と性格の関係表、昭和23年11月25日付『読売新聞』「職階級制に成功—日産化学工業の実態」からの抜き書き、工員のカテゴリ(安藤瑞夫のカテゴリのメモか)、古川竹二『血液型と気質』(三省堂、昭和7年)からの抜き書き、人種や地域と血液型の偏りの関係表、教育診断表、性格指標予診用紙、環境性格評定。	千葉胤成		(昭和20年代前半)		9点(25枚)	古川竹二メモ
I	10		[原稿]時間意識の問題		千葉胤成		昭和27年7月6日	メモ	1冊(239枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号があり、226頁まで/表紙に朱書きで「仮名つかい 日本数字等」とある/メモ2枚あり。
I	11	+	[原稿・メモ等]森のころ	(昭和27年6月、津川高等学校)	千葉胤成		(昭和27年6月)		15点	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	11	1	[原稿]森のころ		千葉胤成			メモ	1通(11枚)	頁番号があり、1~10頁まで/1緑の野、2森林と人生、3独逸と日本、3日本の場合。
I	11	2	[別刷]東京市西郊に於ける屋敷森の形態と機能	『地理学評論』第15巻第8・9号別刷。	伊藤隆吉	小倉	昭和14年8・9月	冊子	1冊(38頁)	
I	11	3	仙臺郷土研究 第九巻第四号	小倉強「屋敷と「めぐね」」他。	仙臺郷土研究会		昭和14年4月	冊子	1冊(10頁)	
I	11	4	[関連メモ]	[居久根榎木壳渡証文写]、奥州白石郷土工芸研究所「昭和十六年十月復興展覧会記念 奥州白石産紙布織」(編輯人兼発行人片倉信光)、『緑の野』(小学校六年生用国語教科書か)、園部一郎『林学講義Ⅲ』(昭和16年、11版)アウト・ルードウィッヒ『世襲の山守』、中西敏憲訳『独逸概観』(昭和17年)、佐藤昌介・稲田昌権『世界農業史論』(昭和10年)、高崎正秀『万葉集叢放』(昭和11年)、澤瀉久孝『万葉集序説』(昭和16年)、森本禮吉「禁樹について」(澤瀉久孝『万葉雑記』昭和17年)、遠藤安太郎「日本山林史」保護林篇上(日本山林史刊行会、昭和9年)、慶安御触書(宮崎安貞『農業全書』元禄十年十巻)からの抜き書き。					12点(13枚)	
I	12		[原稿]発達心理学—人間精神の発達—		千葉胤成		昭和27年	メモ	1冊(439枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「Ⅲ1.発達心理学—人間精神の発達—/昭27」とある/頁番号があり、1頁より434頁まで。
I	13		[原稿「気」について]	千葉の原稿のコピー/1「気」ということば、2「気」の文字、3中国における「気」思想の文献史的概観、4西欧における「気分」の問題、5中国における傍系思想および西欧における非正統派哲学、6「気」に関する2・3の説、7「気」の本質、の内、1「気」ということばの部分。	千葉胤成		(昭和28年)	複写物	1点(12枚)	
I	14		[原稿]発展法について		千葉胤成		昭和29年5月5日	メモ	1冊(15枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「71.発展法について/昭29.5.5;原13(14)」とある/頁番号があり、14頁まで。
I	15		[メモ等 発展法について]	「発展法について」と題するメモ、記述的分節の心理学による精神生活の内面的構造の考察についてのメモ、社会調査の方法に関するメモ、「非合理的又ハ非理性的(Ivationale)」と題するメモ、「研究内容」と題するガリ版刷り計画書(非・帰納的研究方法について)、『朝日新聞』切り抜き(長谷川如是閑「新聞および新聞人」30~32(昭和29年2月22日~24日<マスコムニケーションと新聞>))。	千葉胤成		昭和29年		9点(14枚)	
I	16		[原稿]固有意識	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/内容は、I意識ト無意識、II無意識ノ概念ノ発達、III無意識ニ関スル論議、IV無意識的事実ト説明、V固有意識的考察、VI相対的固有意識(一)、VII相対的固有意識(二)、VIII絶対的固有意識(一)、IX絶対的固有意識(二)、X固有意識ノ研究法について/頁番号があり、319頁まで/附图5点あり。	千葉胤成		昭和29年6月7日	メモ	1冊(351枚)	
I	17	+	[原稿・メモ等]学習の問題		千葉胤成		昭和29年6月28日		9点	
I	17	1	[原稿]学習の問題	1学習の意味、2学習研究の種類、3学習の条件、4学習過程の経過、5学習の段階、6学習の理論、7学習指導/1~34頁まで。	千葉胤成		昭和29年6月28日	メモ	1点(36枚)	紙背は学生のレポート、昭和28年5月20日付日本教育心理学協会設立世話人より協会設立と今後の運営についてなど。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	17	2	[関連メモ]	学習の問題執筆関係(構成・各項の要旨など)のメモ、加舎亨「学習指導の心理学的研究」に関するメモ、「教育心理学について—歴史・任務・方法・問題—」と題するレジメ、学習に関するメモ。					8点(19枚)	
I	18	+	[メモ等]民族(東西と南北)		千葉胤成		昭和25年～昭和29年		17点	
I	18	1	[メモ等 新潟の地誌]	「越路」と朱書きされた封筒に入っていた。『朝日新聞新聞』切り抜き(郷土名産自慢くらべ・収穫予想調査)、田中美清篇『佐渡志』(越佐叢書 昭和9年 第4巻(巻1-10)、第7巻(巻11-15))からの抜き書き、『新潟日報』附録 産業大観／観光越佐展望、坂口仁一郎『北越誌話』からの抜き書き、『人国記』(越後／佐渡関係)からの抜き書き、「父母と芝生の会」の在り方行き方、市島春城「北越誌話」について(五峯餘影 昭和四年新潟新聞社坂口献吉編)、市島春城「北越誌話」についてからの抜き書き。			昭和25年		9点(16枚)	
I	18	2	[翻訳]お百姓の心理	独語文献の翻訳か。	千葉胤成			罫紙	1冊(28頁)	
I	18	3	[原稿]國と國人 英吉利、独逸、仏蘭西、伊太利、亜米利加、露西亞		千葉胤成			罫紙	1冊(22枚)	
I	18	4	[関連メモ]	教育情報附録「国の誕生」(昭和26年2月22日)からの抜き書き、『朝日新聞』切り抜き(随想 日本人の忘れもの 長谷川伸)、島崎敏樹「精神医学の動向」(日本医事新報 第1395号 昭和26年1月20日)からの抜き書き、「福井県ニ永ク検事ヲシテル人ノ話」(「人間ガ貧乏シテイヨハ、困ツタキノ富山泥棒、石川乞食、福井詐欺」とある)、『文藝春秋』ベルギーと西ドイツ—外遊日記(小泉信三、29年4月号)。					6点(15枚)	
I	19		[原稿]精神物理学		千葉胤成		(昭和20年代後)	メモ	1点(13枚)	紙背は昭和26年度入試学力検査。
I	20	+	[原稿]普通心理学資料		千葉胤成		昭和30年		9点	
I	20	1	[原稿]普通心理学資料		千葉胤成		昭和30年4月19日	メモ	1冊(248枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／1知覚と表象、2思惟、3感情意志及人格／頁番号があり243頁まで。
I	20	2	[原稿]心理学概説	目次(心理学概説<1心理学の発達、2心理学の対象、3心理学の研究法、4心理学の分科、5意識現象の種別、6知覚生活>)	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	
I	20	3	[原稿]	目次(序論、1研究の対象、2研究の方法、3研究の発達、4研究対象の種別、5心理学の分科)	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	20	4	[原稿]知覚ト感覚		千葉胤成			メモ	1冊(11枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～10頁まで。
I	20	5	[原稿]知覚(色彩感覚 空間知覚)		千葉胤成			メモ	1冊(32枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、32～63頁まで。
I	20	6	[原稿]各発達時期における人間完成の仕方—世阿弥による—		千葉胤成			メモ	1冊(20枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、424～443頁まで。
I	20	7	[原稿]表象(知覚と表象)		千葉胤成			メモ	1冊(16枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、64～73頁まで。
I	20	8	[原稿]記憶		千葉胤成			メモ	1冊(36枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～28頁まで。
I	20	9	[帯]	原稿を束にするための紙。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	21	+	[原稿・メモ等]無意識の心理学	千葉胤成『無意識の心理学』(河出書房、1956年)の発行関係。	千葉胤成		(昭和30年頃)		22点	
I	21	1	[レジュメ]固有意識—その後—		千葉胤成		昭和22年11月28日～昭和23年2月		2点	封筒入り。封筒に「固有意識—その後—」とあり。
I	21	1	1 [レジュメ]固有意識(霧然会における話の内容目録)	仙台市立中学校用罫紙。	千葉胤成		昭和22年11月～昭和23年2月	罫紙	1冊(10枚)	
I	21	1	2 [レジュメ 千葉胤成の出生から現在までの歩み]		千葉胤成			ガリ版印刷物	1通(1枚)	
I	21	2	[年譜]固有意識とところどころ	千葉胤成の年譜。メモ1枚あり。	千葉胤成			ノート	1冊(32頁)	
I	21	3	[講義原稿]“見える心”ト“見えない心”	石越尋常高等小学校での講義原稿/昭和11年4月24日に見た夢に対する意識層・固有意識層に関する分析メモおよびスケッチ。	千葉胤成		昭和11年5月	ノート	1冊(18枚)	
I	21	4	[講演原稿]固有意識の固有意識(昭和9年4月26日心理学茶話会に於て)		千葉胤成		昭和9年4月26日		4点	封筒入り。
I	21	4	1 [レジュメ]固有意識の固有意識	1「固有意識」の名、2固有意識の領域分野、3固有意識と通例の意識、4固有意識の固有意識。	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	21	4	2 [レジュメ]	1「固有意識」の名とその考え方、2私の体験(生活)と固有意識、3「相対的固有意識」と「絶対的固有意識」、4研究法の問題、5生活の諸領域への適用。	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	21	4	3 [業績一覧]	昭和15年まで。	千葉胤成			罫紙	1点(8枚)	
I	21	4	4 [レジュメ]	3信仰、4感情に関する諸問題、5無意識、6識別作用の非相称性について、7心理学の対象。	千葉胤成			メモ	1点(10枚)	
I	21	5	[封筒]		千葉胤成				1点	封筒表書「固有意識の固有意識/見える心と見えない心」。
I	21	6	[『無意識の心理学』発行関係書類]		千葉胤成		昭和30年頃		13点	
I	21	6	1 [関連メモ]	著書発行に向けての手順、構成案、脚注、孝経説について、「固有意識に関し田辺元氏に答ふ」などのメモ。					11点(42枚)	
I	21	6	2 [書簡]	研究史についての調査結果の報告。	清田医師長町大窪谷地 阿倍淳吉	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和30年10月17日	封書	1通(4枚)	
I	21	6	3 [書簡]	論文の所在等について。	仙台北六番丁 北村晴朗	東京都北多摩郡小平町 鈴木上鈴木 千葉胤成	昭和30年10月18日	はがき	1通(1枚)	
I	22	+	[原稿]感情優位の問題	(第19回日本心理学会、昭和30年5月。佐々木教授記念論文集、昭和30年12月)	千葉胤成		昭和29年8月20日～昭和30年3月20日		3点	
I	22	1	[原稿]感情優位の問題		千葉胤成		昭和29年8月20日	メモ	1冊(42枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号1～40頁まで/1意識の種別、2感情の基本的考察、3感情の優位、4芸術至上。
I	22	2	[原稿]感情優位の問題—意識ノ種別ニ因ミテ—		千葉胤成			メモ	1冊(13枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号1～12頁まで/1意識の種別、2感情優位説、3感情の本質と無記感情—感情の主徴と普遍性—、4感情優位の意義、5芸術至上。
I	22	3	[原稿]感情優位の問題—意識の種別に因みて—		千葉胤成		昭和30年3月20日	メモ	1冊(10枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号1～10頁まで/1～4まで。
I	23	+	[原稿・メモ等]	本川・アメリカ土産話、ヴントのモイマン評、新聞切り抜きなど。	千葉胤成		(昭和30年代前後)		6点	
I	23	1	[メモ]本川・アメリカ土産話	「本川・アメリカ土産話(29.4.21—放送)/学術研究施設羨マシイ。施設ワドンドン生産ンテ研究ヲ楽ニスル—研究ノ大量生産ハアツテモ質的ナ進歩ハ如何—」とある。			昭和29年4月21日	メモ	1点(5枚)	紙背は昭和29年3月5日付東京大学文学部心理学教室高木教授還暦祝賀会世話人より荒城貞二還暦祝賀会のお知らせ、昭和二九年付財団法人交詢社出版局より日本紳士録登録情報に関する調査の依頼など。
I	23	2	[原稿]「ヴント」の「モイマン」評	モイマンの『叡智及意志』に対するヴントの批評『純正及応用心理学』の紹介/文末に「教育学术界 第20巻第7号25-32頁(明治43年3月)」とある。	千葉胤成			原稿用紙	1冊(21枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	23	3	[新聞切り抜き]	「労使関係の新展開」、「李ラインはどうなる/日韓折衝の成否/カギ握る李大統領/漁業の立遅れ回復策」、「原子力時代と日本の将来/国際理論物理学会議・本社主催の記念座談会」/「吉田・重光会談について」、「東京都の悩み/人口は毎年四十万増 8年後には約一千万に」、「基礎物理学の新段階/新法則発見の前夜 すべての粒子を統一するもの」/「論壇 新しい教育の方法—問題解決のための知識を— 大塚明郎」	朝日新聞社		昭和28年9月14日・昭和28年9月28日・昭和29年4月13日	新聞切り抜き	3点(3枚)	
I	23	4	[メモ]応用心理学者の心構へ		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	文末に「教育学術界 第21巻第1号 明治43年4月号46-52」とある。
I	24	+	[メモ等 心理学概説関係]						7点	
I	24	1	[レジュメ]	1心理学の発達、2心理学の対象、3心理学の方法、4心理学の分科、5固有意識、6意識、7意識の表徴、8意識の統制、10意識の種別、11知覚の理論、12知覚の実質的要因—感覚(1)、13知覚の実質的要因—感覚(2)、14知覚の実質的要因—感覚(3)、15知覚の形式的要因—知覚(狭義)(1)、16知覚の形式的要因—知覚(狭義)(2)、17知覚の形式的要因—知覚(狭義)(3)、18知覚の形式的要因—知覚(狭義)(4)、19表象の理論、20表象の種別、21表象の種別(2)、22表象の種別(3)、23表象の種別(4)				ガリ版印刷物	1冊(30枚)	
I	24	2	[レジュメ]	心理学の発達、心理学の方法、心理学の分科、第1部知覚、第2部表象、第3部思惟				ガリ版印刷物	1点(21枚)	
I	24	3	[メモ 書籍の構成]	Rohracher, Einführung in Die Psychologie、Melzger, Psychologie Die Enturckoung ihrer Grundannahme、Muller, K, E, Einführung in Die Wgemeine Psychologie、編集担当者名簿あり。	千葉胤成			メモ	1点(8枚)	
I	24	4	[メモ 研究動向の整理に関するもの]		千葉胤成			メモ	1点(3枚)	
I	24	5	[文献リスト]					タイプ印刷物	3点(9枚)	
I	25	+	[原稿・メモ等 心理学概説]		千葉胤成		(昭和30年前後)		14点	
I	25	1	[レジュメ]	1知覚と表象、2思惟、3感情・意志・人格、4発達心理学、5社会心理学、6差異心理学と性格学、7教育心理学、8深層心理学、9精神生活の病理学、10実際心理学、11心理学の対象・その方法およびその区分、12近世心理学における主方向。	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	25	2	[原稿] I 知覚と表象	1感覚と知覚、3後感覚(残覚)・表象・直観像・共感。	千葉胤成			メモ	1点(36枚)	紙背は昭和30年1月付東京大学文学部中国哲文学研究室内加藤教授還暦記念会より記念事業への賛同依頼、学生によるレポートなど。1~36頁まで。
I	25	3	[原稿]②顫動感覚		千葉胤成			メモ	1点(5枚)	紙背は昭和27年2月11日付新潟大学事務局長より在京外国代表団に対する資料提供について、昭和27年1月30日付外務事務次官より在京外国代表団に対する資料提供の件、昭和27年2月7日付文部省大臣官房渉外ユネスコ課長より在京外国代表団に対する資料提供について。
I	25	4	[原稿]④色の現われ方	1)色の現われ方、2)色の恒常、3)対比、4)色の膨張と収縮・色の進出と後退。	千葉胤成			メモ	1点(7枚)	紙背は昭和24年8月9日付東北大学文学部心理学教室より東北心理学会設立総会開催の通知、昭和27年4月23日付日本教育大学北陸地区協会調千葉胤成より昭和26年度日本教育大学北陸地区協会費決算についてなど。1~7頁まで。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	25	5	[原稿](4)空間知覚の諸要因の共働	1)空間を定す物体の表象、2)空間知覚の自我中心主義、3)運動知覚、4)共感知覚。	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	紙背は昭和28年4月22日付新潟大学事務局長より全国大学教授連合関東支部評議員改選について、昭和28年4月1日付日本大学文学部長より授業開始御通知、昭和25年新潟大学新潟第一師範学校第7回卒業・第1回修了式次第案など。
I	25	6	[原稿](5)時間知覚	1)時間の時間意識、2)時間評価と時間測定。	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	紙背は3月末日現在身体障害者登録就職状況、全国大学教授連合支部評議員選挙注意事項、昭和27年度日本教育大学協会北陸地区会収入内訳。
I	25	7	[原稿]表象	1)知覚と表象、2)表象の概念、3)表象再生と素質。	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	紙背は昭和28年5月1日付日本大学法文学部庶務課より書類提出の依頼など。
I	25	8	[原稿]知覚	1現象学、2対象論、3形態心理学。	千葉胤成			メモ	1点(11枚)	クリップ外した。紙背は2月付日本大学法文学部長より学年末試験の答案の送付状、昭和28年5月31日付文部大臣より文部省人事異動通知書(千葉胤成新潟大学文部教育の辞職)。
I	25	9	[原稿]①生活知覚		千葉胤成			メモ	1点(6枚)	
I	25	10	[原稿]行動主義		千葉胤成			メモ	1点(3枚)	紙背は昭和25年11月17日付教育学部(教育学科)教育課程について、教育学部一般教養関係参考資料など。
I	25	11	[原稿]記憶	記憶・想起・学習と保持。	千葉胤成			メモ	1点(6枚)	紙背は昭和28年5月1日付全国大学教授連合関東支部長より第2回総会開催通知など。
I	25	12	[原稿]思惟	(1)関係樹立、1概念・判断・推理。	千葉胤成			メモ	1点(7枚)	紙背は新潟大学現職教育委員会規程、仲定員による学部分校別学科別募集人員表など。
I	25	13	[原稿]一四 精神共同	(1)群衆、(2)種族。	千葉胤成			メモ	1点(13枚)	紙背は5月25日・29日付坂野高次書簡、東北心理学会係木原孝書簡、6月2日付矢野幸和書簡、6月9日付熊谷宣吉書簡など。1~13頁まで。
I	25	14	[原稿]一五 精神ノ発達	(1)動物、(2)人間の精神発達。	千葉胤成			メモ	1点(15枚)	紙背は4月7日付藤田敏彦書簡、昭和29年4月26日付関西学院大学法文学部長より故中井淳博士御遺族後援資金募集委員会発起人への参加依頼、新大教育学部処務係より旅行命令簿送付依頼など。1~15頁まで。
I	26		[原稿]価値心理学ノ問題		千葉胤成		昭和31年12月11日	メモ	1冊(60枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「13.価値心理学ノ問題/昭31.12.11;原30(35)」とある/頁番号があり、58頁まで
I	27		[原稿]インドの心理学		千葉胤成		昭和31年2月	メモ	1冊(255枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、252頁まで／表紙に「インドの心理学/原238(252)」とあり。
I	28		[メモ等]原子物理学と心理学	朝永振一郎『量子力学的世界像』(弘文堂・アテネ新書2、昭和24年)からの抜き書き・私見、反中性子に関する新聞記事切り抜き。	千葉胤成		昭和31年		3点(6枚)	
I	29	+	[原稿]意識性の問題	(第21回日本心理学会報告、昭和30年5月)	千葉胤成		(昭和30年代前)		3点	
I	29	1	[原稿]意識性の問題—唯識とプレントナー—		千葉胤成		昭和32年10月4日	原稿用紙	1点(12枚)	
I	29	2	[原稿]意識性ノ問題		千葉胤成		(昭和31年頃)	原稿用紙	1点(4枚)	紙背は昭和31年4月20日付法文学部新入生歓迎大会実行委員会より新入生歓迎大会の案内。
I	29	3	[原稿]Gibt es ein unbewusstes Beurusstsein?		千葉胤成			原稿用紙	1点(20枚)	
I	30	+	[昭和31年度 科学研究費交付金交付申請書関係]				昭和31年2月		10点	
I	30	1	昭和31年度 科学研究費交付金(総合研究)交付申請書	研究課題:心理学基礎論の現況調査ならびにその理論構成ノ研究分担者:喰代驥・千葉胤成・松宮周郎・渡辺市郎・齋藤國夫・上村忠雄・高木健太郎・田中康久。	黒田正典	文部大臣	昭和31年2月10日		1通(5枚)	
I	30	2	[昭和31年度 科学研究費交付金(総合研究)公付申請附属書類 承諾書]	新潟大学長より文部大臣宛、黒田正典が総合研究の代表者となることに対する承諾書(1通)ノ研究分担者より総合研究代表者黒田宛、総合研究を分担することに対する承諾書(8通)	黒田正典	文部大臣	昭和31年2月8日		9通(9枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	31		[借成学術奨励金推薦書関係]				昭和33年		4点	
I	31	+	[借成学術奨励金申請 推薦書作成依頼書]	推薦書原稿送付状および推薦書原稿、借成学術奨励金申請書(研究課題:青少年非行の発生・浄化ならびに矯正の諸条件に関する社会心理学的研究—特に成人犯罪者と少年非行との関連を中心にして—/共同研究者:村上沢・高橋和年・牧野勝・桂島眞口雄・白木沢英一・石郷岡泰・長谷川浩・石津みつ子)。	安倍淳吉	千葉胤成	昭和33年7月26日		1通(6枚)	
I	31	2	[借成学術奨励金申請附属書類 推薦書原稿]	草稿1枚、原稿1通(原稿用紙2枚)、推薦書4通(ガリ版4枚)。			昭和33年7月~8月		3点(7枚)	
I	32		[原稿・メモ等]日本の音楽と西洋の音楽関係資料	「日本の音楽と西洋の音楽/昭33?原3()と書かれた封筒に一括して入っていた原稿と新聞切り抜き。	千葉胤成		(昭和33年)		10点	
I	32	+	[原稿]日本の音楽と西洋の音楽		千葉胤成			メモ	1点(4枚)	
I	32	1	[新聞切り抜き]	「音⑦/魅力的かつ神秘的/日本の音感」(朝日新聞社、昭和43年9月3日)、土田貞夫「新しい音楽運動の方向—民族主義を伝統文化の上に—」(朝日新聞社、昭和31年12月4日)、岸辺成雄「米国の日本古典音楽」(朝日新聞社、昭和38年5月14日)、「いい音楽とは何か/ヒンデミット氏の東京芸大講演から/技術こえて人間性を/新奇だけを追う今日の音楽」(朝日新聞社、昭和31年4月28日)、安達瞳子「雅楽/蘭陵王<竜王>/神仏的なのかさ」(朝日新聞社、昭和39年7月7日)、吉住小三郎のインタビュー(朝日新聞社、昭和37年6月28日)、岸辺成雄「日本伝統音楽の海外紹介/魅力は本物の古典に」(朝日新聞社、昭和38年11月19日)、「日本音楽の旋律とリズム/エロイズ・カニングハム」(夕刊東北新聞社、昭和23年12月30日)、「東西音楽の共通性/エロイズ・カニングハム/源泉を東洋に/リズムに小唄や端歌調」(河北新報社、昭和23年12月24日)。			昭和23年~昭和43年	切り抜き	9点(9枚)	
I	33		[原稿]笹本戒浄「成唯識論の心理説」について	(第22回日本心理学会報告、昭和33年7月。大脇教授在職35年記念心理学論文集、昭和34年12月)	千葉胤成		昭和33年		8点	
I	33	+	[原稿]笹本戒浄「成唯識論の心理説」について		千葉胤成		昭和33年6月2日	メモ	1冊(57枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/表紙に「82(80).笹本戒浄「成唯識論の心理説」について/昭33.6.2.原45(57)」とある/頁番号があり、57頁まで。
I	33	2	[原稿]笹本戒浄「成唯識論の心理説」について—仏教心理学の一研究—(講演草稿)		千葉胤成		昭和33年6月20日	メモ	1冊(15枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号があり、15頁まで。
I	33	3	[原稿]笹本戒浄「成唯識論の心理説」について—仏教心理学の一研究—(抄録)		千葉胤成		昭和33年6月27日	メモ	1冊(8枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載/頁番号があり、6頁まで。
I	33	4	[ノート]笹本戒浄「成唯識論の心理説」	笹本戒浄の論文を筆写したもの/ノートの中に笹本戒浄上人遺稿「三昧略説」の筆写(2枚)ある。	千葉胤成			ノート	1冊(45頁)	
I	33	5	[原稿]笹本戒浄「成唯識論の心理説」について	部分。	千葉胤成			原稿用紙	1点(1枚)	
I	33	6	[原稿]笹本戒浄の唯識論について		千葉胤成		(昭和31~33年)	メモ	1点(5枚)	紙背は昭和32年12月付駿台高等四谷予備校校長より父兄各位宛成績表送付状、昭和33年3月付日照堂望月靖之より千葉先生宛教科書の手配について、昭和31年5月付日本大学図書館長齋藤敏より第三回佐藤コレクション展示会のお知らせなど。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	33	7	[原稿 笹本戒浄について]		千葉胤成		(昭和32年)	メモ	1点(12枚)	紙背は昭和32年10月付松井三雄教授退職記念会準備委員長より退職記念会の発起人依頼、昭和32年10月付日本大学法学部・文学部より大学祭開催の知らせ、心理学実験のレポートなど。
I	33	8	[原稿 仏教の哲学的思想]		千葉胤成		(昭和33年)	メモ	1点(6枚)	
I	34	+	[成唯識論関係]						9点	
I	34	1	[ノート]識転論・四分説・三類		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	2	[ノート]広瀬文豪・唯識論 黒田亮・唯識心理学		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	3	[ノート]成唯識論・光明主義		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	4	[ノート]唯識雑録		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	5	[ノート]唯識哲学研究 伊藤高順		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	6	[ノート]心・意・識		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	7	[ノート]八識一覽		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	8	[ノート]唯識要義 花田凌雲		千葉胤成			ノート	1冊	
I	34	9	[ノート]唯識要義		千葉胤成			ノート	1冊	
I	35	+	[原稿・メモ等 唯識論関係]						10点	
I	35	1	梵文 唯識三十頌和訳 玄奘訳					ガリ版印刷物	1冊(12頁)	
I	35	2	唯識論分科全図	井上玄眞 唯識論講義(29~33頁)からの抜き書き。				メモ	1点(1枚)	
I	35	3	唯識三十頌	世親菩薩造 玄奘訳				メモ	1点(1枚)	
I	35	4	[原稿]インド唯心論の発展	頁番号があり、1~38頁まで / I 東西哲学の全貌、II 印度哲学の源流、III Upanisad哲学、IV Upanisad以後。	千葉胤成			メモ	1点(38枚)	紙背は日本大学学生のレポートなど。
I	35	5	[原稿]4)その他(Jaina)	「ソノ他一般思想界ニハ種々ノ異説ガアツタガ、ソノ代表的ナモノトシテハ仏教ノ伝ウル六師ノ説ガアル・・・」	千葉胤成			メモ	1点(3枚)	頁番号があり、1~3頁まで。
I	35	6	[ノート 仏教思想に関するメモ]		千葉胤成			ノート	1冊	
I	35	7	[メモ]	山本幹夫「辨栄聖者の人格と宗教—現代人の宗教読本—」からの抜き書き、聖書からの抜き書き、不動智神の抄録など。	千葉胤成			メモ	4点(6枚)	
I	36		[原稿]二つの無意識		千葉胤成		昭和34年7月4日	メモ	1冊(81枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載 / 表紙に「87(81)二つの無意識 / ○第23回日本心理学会、昭和34年、1959.7月、北大 / ○日本大学創立70年記念論文集、昭和36年、1961.10月第1巻、1081-1100 / 昭34.7.4:原54(67)」とある / 頁番号があり、67頁まで / 要旨1枚あり。
I	37	+	[原稿・メモ等 二つの無意識]		千葉胤成		(昭和30年代前)		9点	
I	37	1	[原稿]二つの無意識(1)		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	右上に「2」と頁番号が付されている。
I	37	2	[レジュメ 意識と固有意識]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	37	3	[論文 二つの無意識]	部分。	千葉胤成			ガリ版印刷	1点(1枚)	
I	37	4	[原稿]二つの無意識		千葉胤成			原稿用紙	1点(5枚)	
I	37	5	[原稿]二つの無意識(3)		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	紙背は昭和31年3月30日付恩給法改正期成同盟より顧問就任の依頼状、心理学実験のアンケート(部分)。
I	37	6	[メモ]精神界における巨視的なものと微視的なもの		千葉胤成		昭和34年1月16日	メモ	1点(1枚)	紙背は昭和33年3月付大阪大学文学部橋本勝より学部紀要送付状。
I	37	7	[原稿]二つの無意識		千葉胤成			メモ	1点(24枚)	紙背は日本大学世田谷教養部ひさご会規約、昭和30年付二高尚志社より会費請求書、大脇先生在職三十五年記念祝賀事業第1回在仙発起人会打合せ事項など。
I	37	8	[白紙]		千葉胤成				2点	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	38		[原稿]教育心理学		千葉胤成		昭和34年8月18日	メモ	1冊(236枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「原264枚/昭38.8.18/240頁」とある／章ごとに分割されており、I 総説(22枚・22頁)、II 発達(26枚・22頁、独文1通、構成案、まえがき原稿が挟まれている)、III 個性(22枚・22頁)、IV 学習(1)(37枚・36頁、V 学習(下)(33枚・33頁)、VI 評価(27枚・24頁)、VII 人格(22枚・21頁)、VIII 適応(25枚・24頁、メモ2枚が挟まれている)、IX 固有意識のこと(原稿なし)、X 結語(22枚・21頁)
I	39	+	[原稿]心理学原論	心理学原論 上・下2冊。	千葉胤成		昭和34年1月31日		2点	
I	39	1	[原稿]心理学原論1-50 上一心理学の対象		千葉胤成		昭和34年1月13日	メモ	1冊(484枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「6.心理学原論/1-750/上一心理学の対象/昭34.1.13;原710(750)/34.1.13」とある／頁番号があり、573頁まで／追加原稿6点あり。
I	39	2	[原稿]心理学原論1-750 下二心理学の方法		千葉胤成		昭和35年1月13日	メモ	1通(180枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「心理学原論/1-750/下二心理学の方法/35.1.13」とある／頁番号があり、574～750頁まで／追加原稿5点あり。
I	39	3	[追加原稿 124頁と125頁の間]3)現代における代表的無意識論		千葉胤成			メモ	1点(6枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	4	[追加原稿 205頁と206頁の間]安藤昌益や仏教などにおける自然観・死生観]		千葉胤成			メモ	1点(5枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	5	[追加原稿 205頁と206頁の間]Lersch, Mezger, Rohracher		千葉胤成			メモ	1点(9枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	6	[追加原稿 205頁と206頁の間]意識・無意識に関する研究状況]		千葉胤成			メモ	1点(10枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	7	[追加原稿 374頁と375頁の間]脳の構造や反応について]		千葉胤成			メモ	1点(3枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	8	[追加原稿 470頁と471頁の間]Rohracherについて]		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	17に挟まれていたもの。
I	39	9	[追加原稿 581頁と582頁の間]Lersch, Rohracherにおける自己観察について]		千葉胤成			メモ	1点(4枚)	18に挟まれていたもの。紙背は日本心理学会第27回大会関係。
I	39	10	[追加原稿 612頁と613頁の間]Lerschの他者観察]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	18に挟まれていたもの。
I	39	11	[追加原稿 688頁と689頁の間]心理学と自然科学]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	18に挟まれていたもの。
I	39	12	[追加原稿 695頁と696頁の間]精神科学・自然科学]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	18に挟まれていたもの。
I	39	13	[追加原稿 696頁と697頁の間]前科学的心理学]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	18に挟まれていたもの。
I	40	+	[原稿・メモ等]世界名著大事典	『世界名著大事典』(平凡社、1960～62年)の執筆関係。	千葉胤成		昭和34年		25点	
I	40	1	[執筆依頼書]	記述的、分析的心理学(W.ディルタイ)・経験的立場からの心理学(F.フレンターノ)の二つについての執筆依頼。	世界名著大事典編集部	千葉先生	昭和34年4月11日		1通(1枚)	
I	40	2	[原稿]記述的および分析的心理学についての理念	世界名著大事典の原稿。	千葉胤成		昭和34年	メモ	1点(2枚)	紙背は昭和33年12月付勝畑衛・山田利雄・佐藤喜三郎より二高に関する表彰に対する礼状(宛先なし)、同三名表彰への寄付芳名簿(部分)。
I	40	3	[原稿]経験的立場からの心理学	世界名著大事典の原稿。	千葉胤成		昭和34年	メモ	1通(2枚)	紙背は勝畑衛・山田利雄・佐藤喜三郎の表彰への寄付芳名簿(部分)、同三名表彰会醸金報告(部分)。
I	40	4	[原稿]記述的、分析的心理学についての理念	世界名著大事典の原稿。	千葉胤成		昭和34年	原稿用紙	1点(4枚)	
I	40	5	[原稿用紙]	白紙				原稿用紙	1点	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	40	6	世界名著大事典 刊行の趣旨・執筆要領および執筆記載例		平凡社		1959(昭和34)年	活字印刷物	1通(2枚)	
I	40	7	[原稿]経験立場からの心理学		千葉胤成			原稿用紙	1点(4枚)	ページ番号あり、1~4ページまで。
I	40	8	学術用語心理学部門標準用語案		平凡社心理学事典編集部		昭和31年10月	ガリ版印刷物	1冊(56頁)	
I	40	9	学術用語心理学部門標準用語案 補遺		平凡社心理学事典編集部		昭和31年10月	ガリ版印刷物	1冊(4頁)	
I	40	10	[学術用語心理学部門 方法・一般・その他の用語および執筆者について]	用語およびその執筆予定者名・執筆枚数。				ガリ版印刷物	1点(7頁)	
I	40	11	[論文の分量に関するメモ]	論文の項目が書かれている(意識・意識性、意識の統一・意識の発達・無意識・意識の障碍)。				メモ	1点(1枚)	
I	40	12	術語の出典	世界名著大事典編集関係資料。	平凡社心理学事典編集部			ガリ版印刷物	1点(1枚)	
I	40	13	[メモ]唯物論	唯物論の語句説明のメモ。				メモ	1点(1枚)	
I	40	14	[原稿]Bewusstsein	語句説明の原稿。				メモ	1点(1枚)	右上に「1」と頁番号あり。
I	40	15	[原稿]意識					メモ	1点(4枚)	
I	40	16	[原稿]Consciousness	英文。				メモ	1点(2枚)	
I	40	17	[原稿 意識の理論]					メモ	1点(2枚)	右上に「2」「3」と頁番号あり。
I	40	18	[原稿 意識の性質の解明に対する視角]					メモ	1点(1枚)	
I	40	19	[メモ 人名・生没年]					メモ	1点(1枚)	
I	40	20	[メモ]	語句説明に関するメモ。				メモ	1点(2枚)	
I	40	21	[メモ]	語句説明に関するメモ。				メモ	1点(1枚)	
I	40	22	[メモ]意識障害	意識障害に関する説明項目メモ。				メモ	1点(1枚)	
I	40	23	[書簡 意識障害の分類について]		笠松章	千葉先生		書簡	1通(3枚)	
I	40	24	[校正関係指示文書]					メモ	1点(1枚)	
I	40	25	[原稿]ヴェルツブルグ学派					メモ	1点(2枚)	左上に「39」「40」とあり。
I	40	26	[原稿]意識・無意識					メモ	1点(14枚)	
I	41	+	[メモ等 PSYCHOLOGIA執筆関係]		千葉胤成		昭和34年		2点	
I	41	1	PSYCHOLOGIA執筆要領等	PSYCHOLOGIAの執筆要領・千葉胤成の略歴・校正に関する編集者案。			1959年9月	メモ	1通(3枚)	
I	41	2	[メモ]	用語の英訳、引用論文および脚注に関する指示など。				メモ	1点(5枚)	紙背は昭和34年9月付城戸先生後援会発起人より寄付依頼。
I	42		[原稿 ヴント、ディルタイ、プレントナーなど]	内容は、ヴント—生理的また統覚心理学、ディルタイ—記述的分析の心理学また構造心理学、プレントナー—作用心理学また表象心理学、4Göttingen研究室及びその業績、形態心理学—ウエルトハイメル、ケーレル、全体性心理学—クリューゲル、了解心理学—シュブランゲル、記憶心理学—エbbingハウス。	千葉胤成		昭和35年12月15日	メモ	1冊(333枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載ノ用紙右上に頁番号があり、70~477頁まで。
I	43	+	[原稿・メモ等]Das Problem der Priorität des Gefühls in bezug auf die Klassifikation Bewusstseins	(Toh. Psychol. Fol. , 19, 1960)	千葉胤成		(1960年)		6点	
I	43	1	[原稿 意識・感情について]		千葉胤成			原稿用紙	1点(3枚)	
I	43	2	[原稿]	独文原稿の校正指示か。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	43	3	[メモ]		千葉胤成			メモ	2点(3枚)	
I	43	4	[原稿]Das Problem der Priorität des Gefühls in bezug auf die Klassifikation	独文原稿。1~27頁。	千葉胤成			タイプ印刷物	1点(28枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	43	5	[原稿]Das Problem der Priorität des Gefühls in bezug auf die Klassifikation	独文原稿。1～25頁。	千葉胤成			タイプ印刷物	1点(26枚)	
I	44	+	[原稿・メモ等 固有意識]	(Psychologia, 3, 1960)			(昭和35年)		3点	
I	44	1	[レジュメ]意識・無意識の心理学—固有意識とところどころ—		千葉胤成			メモ	1点(3枚)	紙背は教育心理学年報の予約募集通知。
I	44	2	[レジュメ]固有意識とところどころ		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	紙背は昭和36年10月5日付日本大学文理学部行事予定表案(部分)など。
I	44	3	[原稿]On the proper consciousness (固有意識 KOYU-ISHIKI)	1. Introduction, 2. Consideration from the standpoint of the proper consciousness, 3. On the awareness, 4. Method of study.	千葉胤成			タイプ印刷物	1点(20枚)	
I	45		[メモ]	「赤子の心」「本良博士」「千里眼」「省心雑言」などがある。	千葉胤成		(昭和30年代前半)	メモ	1点(1枚)	紙背は昭和30年11月20日付鈴木先生喜寿記念会より詩集出版に対する賛同の依頼(部分)。
I	46	+	[原稿・メモ等]心理学の方法		千葉胤成		(昭和32～昭和)		9点	
I	46	1	[原稿 心理学における自己観察について]	項目は「研究法における自己観察の意義」「全体心理学における自己観察の重要」。	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	紙背は「孔子の人格」というガリ版印刷のレジュメ。
I	46	2	[原稿 自己観察と他者観察などについて]	項目は、1自己観察と他者観察、2偶然観察と実験、3自然科学的および精神科学的心理学方法、4科学のおよび前科学的心理学、1主観的および客観的方法、2心理学の実験、3統計法、4了解／頁番号があり、先頭から順に、C1、C2(L1)、C3(L2)、C4(R1)、C5(R2)とある。。	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	紙背は「層概念」に関するガリ版印刷の論文。
I	46	3	[原稿 主観的および客観的方法などについて]	項目は、1主観的および客観的方法、2心理学の実験、3統計法、4了解、1自己観察と他者観察、2偶然観察と実験、3自然科学的および精神科学的心理学方法／頁番号があり、先頭から順にM1、M2、M3、R1、R2、R3、L1、L2、L3とある。	千葉胤成			メモ	1通(9枚)	紙背は日本大学心理学科4年生の研究報告(ガリ版印刷物)。
I	46	4	[メモ 自己観察、全体心理学の方法についての文献リスト]		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	46	5	[原稿]心理学の研究法	項目は、主観的と客観的、人為的自己観察	千葉胤成			メモ	1点(34枚)	紙背は昭和33年夫学26日付日本大学文理学部長より10月の行事予定の通知(部分)、昭和32年5月10日付瀧川博士頌寿記念論文集刊行委員会より寄付に対する礼状、京大文学部五十周年記念事業概要、昭和33年12月20日付大脇教授在職三十五年祝賀記念会発起人より、記念事業計画について報告、日本応用心理学会編渡辺徹教授遺稿心理学論文集(仮称)所載予定の論文リストなど。／用紙右上に頁番号があり、1～29頁まで。
I	46	6	[原稿]心理学の研究法としての「了解」	項目は、1心理学は自然科学か精神科学か、2「了解」の意義、3「了解」は心理学の研究法たり得るや、4精神科学的心理学の理論的心理学への貢献、5いわゆる「了解」の内容的見地の検討、6「自己観察」についての問題、7ある種の帰納—非帰納的(非合理的)、8新世界の展開	千葉胤成			メモ	1点(18枚)	頁番号があり、1～15頁まで。
I	46	7	[翻訳原稿]A.Tumarkin Wusenschaftliche Psychologie 1923		千葉胤成			メモ	1点(26枚)	
I	46	8	[メモ W. Dilthey:われわれは自然を説明し精神を理解する(記述的および分節的心理学理念、1894)]		千葉胤成			メモ	1点(6枚)	紙背は、昭和34年12月22日付東北大学庶務部長より職員録送付の送り状、昭和34年11月12日付日本大学法文学部長より学位論文審査報告の送付についてなど。
I	46	9	[翻訳原稿]Ph Lersseh Aufbau der Person 1956		千葉胤成			メモ	1点(7枚)	
I	47	+	[メモ等]価値心理学の問題		千葉胤成		(昭和30年代前半)		5点	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	47	1	[レジュメ]価値オヨビ価値ノ学		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	47	2	[メモ]Wertgefuhle und Wertussteile Clesur, Psychologie, 1928	論文の和訳ないし要約か。	千葉胤成			メモ	1点(10枚)	紙背は物理学・憲法・生物学の試験問題(部分)、昭和31年3月15日施行文学部第一部入学試験施行計画、昭和30年度夏季学期教職課程授業一覧表(日本大学文学部)など。
I	47	3	[メモ]Mlgemeine Welttheorie, Psychologic des Begchrens von christian v. Ehrinfels (System der Werttherie I. Bd. Leiprig, 1897)	論文の和訳ないし要約か。	千葉胤成			メモ	1点(30枚)	紙背は経済学・日本史・西洋史・数学・国語・英語の試験問題(部分)、昭和29年夏季学期教職課程時間表、昭和28年12月付山田孝雄博士功績記念会より同会創立のお知らせ、昭和30年11月1日付全国大学教授連合より総会開催のお知らせなど。
I	47	4	[メモ]価値オヨビ価値ノ学	論文の和訳ないし要約か/1価値、2価値思想の発展、3価値の学。	千葉胤成			メモ	1点(11枚)	紙背は昭和33年12月1日付Psycho motorikに関する研究会懇話会について、昭和33年10月16日付全国大学教授連合より総会開催のお知らせ、法秩序確立国民会議開催のお知らせなど。
I	47	5	[メモ]価値の価値学	論文の和訳ないし要約か。	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	
I	48	+	[原稿・メモ等 実験心理学]		千葉胤成		(昭和30年代前)		12点	
I	48	1	[メモ 実験心理学史]	実験心理学史の授業計画、内容に関するメモなど。	千葉胤成			メモ	1点(8枚)	
I	48	2	[原稿 実験心理学史]	Wundtについて。	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	紙背は日本大学大学院の昭和31年度講義要項(心理学演習)の原稿など。
I	48	3	[原稿 Wundt]	Wundtの生涯、研究業績等について。	千葉胤成			メモ	1点(27枚)	紙背は昭和31年6月5日付引揚者在外事実調査書(東京都による調査、千葉胤成による記入)、日本大学大学院昭和31年度講義要項(心理学講義・心理学演習)の原稿。
I	48	4	[原稿]「ライブチヒ」心理学実験場に就て	教育学術界、第21巻第5号84~88頁、同第6号100~104頁、明治43年8、9月。	千葉胤成			原稿用紙	1点(24枚)	
I	48	5	[原稿 Carl Stumpfについて]		千葉胤成			メモ	1点(7枚)	
I	48	6	[原稿 Herman Ebbinghausについて]		千葉胤成			メモ	1点(7枚)	
I	48	7	[原稿 G. E. Mulerについて]	紙背はOswald Kulpeについて。	千葉胤成			メモ	1点(3枚)	
I	48	8	[原稿]Oswald Kulpe	1生涯、2学問、3著述	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	48	9	[原稿 心理学史関係]		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	48	10	[メモ 心理学関係雑誌のリス]		千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	48	11	[原稿]Francis Galton		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	48	12	[研究動向の表]	縦軸に研究の種類を、横軸に年次を取り、研究本数を示した揭示用の表。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	49	+	[原稿]心理学概説要項		千葉胤成		昭和35年~昭和36年		2点	
I	49	1	[構成草案]	知覚生活、表象、思惟、感情、意志生活、人格の構造、人格の変異、集団としての精神。	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	紙背は昭和29年2月23日付日本応用心理学会会長より17回大会について案内など。
I	49	2	[原稿]心理学概説要項(35-36年度)	1心理学の発達、2心理学の対象、3心理学の研究法、4心理学の分科、5意識現象の種類、6知覚の様相、7表象の様相、8思考の様相、9感情の様相、10意志の様相、11人格の構造、12人格の異常、13集団としての精神、14精神の共同、15精神の発達。	千葉胤成		昭和35年~昭和36年	メモ	1点(104枚)	1~101頁まで/紙背は日本大学文理学部答案用紙(心理学概説)、7月付京都大学教育学部教育心理学研究室より正木正教授追悼会の案内、昭和37年2月付日本大学文理学部教務課より答案の送付状、昭和36年度文理学部祭(講堂)プログラム、昭和35年8月付日本応用心理学会会長より観光案内について、日本心理学会第23回大会会計報告、文理学部(2年以上)時間割表、昭和33年12月1日付日本心理学会第23回大会案内、1956年7月15日付東北心理学会第10回大会開催の案内、昭和31年11月1日日本大学法・文学部長より学術研究発表会の案内、アンケート調査票など。
I	49	3	[原稿 心理学概説]	内容は、1心理学ノ発達(59枚・1~59頁)、2心理学ノ対象(29枚・60~88頁)、3心理学ノ研究法(20枚・89~108頁)、4心理学ノ分科(21枚・109~129頁)、5心意現象ノ種別(36枚・130~165頁)	千葉胤成		昭和29年6月25日~昭和35年7月5日	メモ	1冊(165枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	50	+	[原稿 心理学概説]		千葉胤成		(昭和36年)		3点	
I	50	1	[原稿 心理学概説]	内容は、内容目次(25枚)、1序説(22枚・22頁)、2知覚ノ様相(139枚・74~203頁・付表2枚・昭和28年9月4日付朝日新聞夕刊「騒音野放しの渋谷駅付近/通行人でさえ頭痛」の切り抜き・昭和38年8月13日朝日新聞「聴覚機構の研究」用に犠牲のネコ二千匹/学士院賞勝木保次氏」の切り抜き)、3表象ノ様相(88枚・204~291頁)、4思考ノ様相(59枚・292~350頁)、5感情ノ様相(88枚・351~438頁)、6意志ノ様相(92枚・439~533頁)ノ23に続く。	千葉胤成		昭和33年7月8日 ~昭和36年12月13日	メモ	1冊(513枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。
I	50	2	[原稿 心理学概説]	内容は、7人格ノ形成(46枚・534~579頁)、8人格ノ異常(84枚・580~650頁)、9集団トシテノ精神(41枚・651~691頁)、10精神ノ共同(39枚・692~730頁)、11精神ノ発達(72枚・731~804頁)	千葉胤成		昭和30年3月17日 ~昭和37年1月31日	メモ	1冊(282枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。
I	51	+	[原稿 教育心理学の研究手法]	(第3回日本教育心理学会、昭和36年10月。方寸、昭和36年11月)	千葉胤成		昭和36年		2点	
I	51	1	[原稿]教育心理学オヨビソノ研究法ニツイテ	表紙に「91.教育心理学オヨビソノ研究法ニツイテ/昭36.11.3原58(59)/36.11.3」とあるノ用紙右上に頁番号があり、15頁より始まり59頁まで、30~32、56~58頁は欠けている。	千葉胤成		昭和36年11月3日	メモ	1冊(39枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。
I	51	2	[原稿]教育心理学における研究法の問題	表紙に「89.教育心理学における研究法の問題/昭36.10.9原13(17)/36.10.9」とあるノ用紙右上に頁番号があり、2頁より始まり17頁までノ内表紙に「36.10.9—名古屋第3回日本教育心理学会」とある。	千葉胤成		昭和36年10月9日	メモ	1冊(19枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。
I	52	+	[原稿]「了解」における「客観性」	(第25回日本心理学会、昭和36年7月。第7回理論心理学談話会、昭和36年10月)	千葉胤成		(昭和36年)		4点	
I	52	1	[原稿]「了解」における「客観的なもの」の項目・要旨]					メモ	1点(2枚)	
I	52	2	[原稿]「了解」における「客観性」の問題		千葉胤成			原稿用紙	1点(6枚)	
I	52	3	[原稿]「了解」における「客観的なもの」		千葉胤成			メモ	1点(8枚)	
I	52	4	[翻訳原稿]O.F Bollnow Das Verstehen		千葉胤成			メモ	1点(17枚)	
I	53	+	[原稿・メモ等]教育心理学における研究法の問題		千葉胤成		(昭和36年)		8点	
I	53	1	[原稿]教育心理学における研究法の問題	1教育心理学、2教育心理学の任務、3教育心理学の方法、4心理学の方法としての「了解」と「自己観察」、5教育心理学における非合理的方法の意義。	千葉胤成			メモ	1点(26枚)	紙背は昭和35年5月より9月まで文理学部行事予定表案、昭和36年9月付日本大学文理学部教務課より試験答案の送付状、昭和36年1月18日付戦後教育資料収集に関する協力依頼、昭和35年5月16日付教職課程委員会教職特別講義実施計画など。
I	53	2	[メモ]	正木正「教育心理学における方法と人間」のまとめ(8枚一括)、塚田毅「教育心理学」のまとめ(2枚一括)、文献リスト(1枚)、「教育の語源」(1枚)、「研究法」(2枚一括)、「研究発表の用紙」(1枚)。	千葉胤成			メモ	6点(15枚)	紙背は昭和36年度日本大学文理学部入学試験実施要領案など。
I	53	3	東洋的思考及び創造性の精神分析学的考察		アメリカ精神分析学研究所所長 ハロルド・ケルマン			活字印刷物	1点(1枚)	
I	54		[講義ノート]花鏡至花道 37年度博士課程		千葉胤成		昭和37年度	ノート	1冊(31頁)	駒澤大学の封筒入りノメモ3点挟まれている。
I	55	+	[メモ 夢の記録]	千葉が見た夢をメモしたもの。	千葉胤成		昭和24~37年		29点	
I	55	1	[メモ 夢の記録]	最初の6枚のみ、3日分記載あり。宮城県第二高等女学校用紙。	千葉胤成		7月21日~9月28日	冊子	1冊(20枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	55	2	[メモ 夢の記録]	記録日は、昭和23年12月24日、昭和24年4月13日、6月5日、6月12日、11月28日、昭和25年4月29日、9月9日～10日、昭和26年6月21日、8月22日、9月28日、10月21日～昭和28年11月6日、昭和29年6月22日、8月28日、昭和30年1月3～4日、1月24日、8月10日、昭和32年2月27日、5月11日、10月1日、(昭和32年)3月27日、昭和33年4月18日、6月8日、昭和34年4月3日、12月5日、昭和37年10月4日、(昭和30年代前半)4月11日。	千葉胤成		昭和23年12月24日～昭和37年10月4日	メモ	26点(27枚)	
I	55	3	[東海夕刊 切り抜き]	夢の研究二十六年／近く一部を出版／児童心理を探究する山本健造教頭(吉城郡袈裟丸小)				切り抜き	1点(1枚)	
I	55	4	[新聞切り抜き]	稲葉秀三「きのうきょう／夢よもう一度」	朝日新聞		昭和29年6月22日	切り抜き	1点(1枚)	
I	56		[原稿]再び「気」について	(第5回日本教育心理学会、昭和38年7月。『日本大学人文科学研究所研究紀要』8、昭和40年12月)	千葉胤成		(昭和40年)		5点	
I	56	+								
I	56	1	[原稿]再び「気」について		千葉胤成		昭和38年7月10日	メモ	1冊(98枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「97.再び「気」について/昭38.7.10:原95(96)38.7」とある／頁番号があり、96頁まで／目次1枚あり。
I	56	2	[原稿]再び「気」について		千葉胤成		昭和38年7月12日	メモ	1冊(7枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、7頁まで。
I	56	3	[メモ 被投性と被搬性]		千葉胤成		昭和39年	メモ	1点(2枚)	紙背は、昭和39年9月16日付新潟大学教育学部心理学教室より地震見舞いに対する礼状(部分)および教育心理学談話会の次第。
I	56	4	[メモ 被投性]		千葉胤成			メモ	1点(5枚)	頁番号があり、5頁まで。
I	56	5	[原稿]世阿弥の「一調二機三声」のこと		千葉胤成			メモ	1点(4枚)	頁番号があり、4頁まで。
I	57	+								
I	57	1	[原稿・メモ等 再び「気」について]		千葉胤成		(昭和40年)		20点	
I	57	+								
I	57	1	[原稿 再び「気」について(部分)]	3中国における「気」思想の文献史的概観、4西欧における「気分」の問題—Bollnowを中心にして—、5中国における傍系思想および西欧における非正統派哲学・心理学の流れを貫くもの、6「気」に関する2、3の説、7「気」の本質、むすび			昭和38年7月10日	複写物	1冊(88枚)	頁番号があり、9頁より96頁まで。
I	57	2	+	気の語彙					2点	封筒入り
I	57	2	1	[メモ 気の語彙]	「気」の用例を書き出したメモ。			メモ	1点(12枚)	
I	57	2	2	[原稿]中国における気思想概観				メモ	1点(10枚)	
I	57	3	[新聞切り抜き]気の病 相撲と気力	「たわごと②」／「気」について／将棋九段升田幸三(昭和38年11月10日)、「きのうきょう／病気」(昭和36年3月10日)、「海外トピックス／日本の経済成長の秘密は米食に—ガーディアン紙(英)／文明人も死に神の暗示には弱い—世界精神病学会報告／古めかしいレディ髪型で選手権—ハンブルク」(昭和36年6月11日)、「春場所総評／朝潮、全盛時の強み／柏戸は大鵬を一步離す」(昭和36年3月27日)、「月と雲をみつめて／坂本繁二郎画伯のこのごろ」(昭和40年3月1日)。	朝日新聞社		昭和36年3月10日～昭和40年3月1日	新聞切り抜き	5点(5枚)	封筒入り。
I	57	4	[封筒]Bollnow Stimmungen	封筒のみ					1点	
I	57	5	[メモ 気・機の意味]	気と機の辞書からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	57	6	[メモ 再び「気」について 執筆関係]		千葉胤成			メモ	1点(11枚)	
I	57	7	[メモ 西欧・中国における思想的系譜]		千葉胤成			メモ	1点(9枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	57	8	[メモ 平岡禎吉『淮南子に現われた気の研究』より抜き書]		千葉胤成			メモ	1冊(25頁)	
I	57	9	[論文抜刷]黒田源次「気」		黒田源次	千葉胤成		冊子	1冊(40頁)	
I	57	10	[メモ 幸田露伴・気の説に関するノート]		千葉胤成			メモ	1点(10枚)	
I	57	11	[論文抜刷]千葉胤成「再び「気」について—中国と西欧における思想の一つの大きな流れをかえり見ながら—」	日本大学人文科学研究所「研究紀要」第8号(1965)／正誤表あり。	日本大学人文科学研究所		昭和40年12月25日	冊子	1冊(31頁)	
I	57	12	[メモ 論文からの抜き書き]	Otto Friedrich Bollnow, Das Wesen der Stimmungen。	千葉胤成			メモ	1点(60枚)	紙背は日本心理学会第27回大会案内(昭和37年10月29日、卒業年度次生徒に対する職業指導基礎資料収集のための調査用紙、千葉胤成業績リスト等。
I	57	13	[原稿]再び「気」について	紙背は心理学事典刊行関係文書、日本教育心理学会第2回総会御案内(昭和35年10月、日本心理学会理事選挙説明書(昭和38年4月20日)等。	千葉胤成			メモ	1点(40枚)	
I	57	14	[原稿]西欧における「気分」の問題		千葉胤成			メモ	1点(28枚)	
I	57	15	KANOMAX INSTRUMENTATION	風速計・風温計・レーザ流速計・音響計測計などの計器のカタログ。	日本カノマックス株式会社		1989年	冊子	1冊(19頁)	
I	58	+	[メモ Lersch]	(第10回理論心理学会、昭和40年3月)	千葉胤成		(昭和39年)		4点	
I	58	1	[メモ]Lersch, 心理学的探求の手段と方途	Lersch「心理学的探求の手段と方途」からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1冊(30枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～29頁まで。
I	58	2	[メモ]Aufbau der Person von Ph. Lersch	Aufbau der Person von Ph. Lerschからの抜き書き。	千葉胤成		昭和39年7月31日	メモ	1冊(62枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～58頁まで。
I	58	3	[メモ]Lersch, 無意識の問題	Lersch「無意識の問題」からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1冊(12枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～11頁まで。
I	58	4	[メモ]Lersch, 人の生成	Lersch「人の生成」からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1冊(5枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～5頁まで。
I	59	+	[メモ]Melzger / Psychologie		千葉胤成		(昭和39年)	メモ	3点	
I	59	1	[メモ]	Melzgerの著作からの抜き書きか。心意的に現実なるもの問題など。	千葉胤成			メモ	1点(3枚)	紙背は、心理学の対象としての固有意識の目次、千葉大学医学部硬式庭球部より活動予定についての通知。
I	59	2	[メモ]IV Methoden der Psychologie	Melzgerの著作からの抜き書きか。心意的に現実なるもの問題など。	千葉胤成			メモ	1点(24枚)	紙背は、昭和37年11月21日付日本心理学会第27回大会案内案、学生による調査レポートなど。頁番号があり、33～56頁まで。
I	59	3	[メモ]Psychologie Die Einführung des Experimento von Wolfgang Melzger Prof. D Universität Münster	Melzgerの著作からの抜き書き。	千葉胤成		昭和39年10月29日	メモ	1点(53枚)	紙背は、学生による調査レポート、昭和39年7月2日伊藤祐時・安藤公平学位祝賀会および長谷川貢欧米視察壮行会関係資料、教育心理学後期試験問題答案(部分)など。頁番号があり、1～50頁まで。
I	60	+	[原稿・メモ等]	Klages性格学・精神分析・意識など。	千葉胤成		(昭和30年代後)		4点	
I	60	1	[原稿]Klages性格学		千葉胤成			メモ	1点(19枚)	紙背は昭和35年度学部卒業論文要旨発表会および予餞会などに関するスケジュール、昭和36年2月9日付日高第四郎・林竹三・関口隆克より戦後教育資料収集に関するご協力についての礼状、昭和36年2月27日付東北大学長黒川利雄より退官教員の送別会の通知、昭和36年4月21日日本教育心理学会常任委員会報告など。
I	60	2	[メモ]	William Stern, Lindurg Klagen, Sigmund Freud, Spranger Eduwd, Felix Krueger, Max Werheimer, Gohn, Braoad Wahn, など、心理学者の研究履歴等を筆記したもの。	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	紙背は学友会執行委員会役員名簿、昭和36年2月付日本大学文理学部教務課より試験答案の送付状、昭和36年5月より6月の行事予定表案。
I	60	3	[原稿]精神分析(Doring, 58-78)		千葉胤成			メモ	1点(16枚)	紙背は昭和36年8月15日付昭和36年度図書館関係要目、心理学実験・報告等。
I	60	4	[原稿]意識		千葉胤成			メモ	1点(20枚)	紙背は「感情」に関する原稿、1956(昭和31)年7月第20回大会時編集委員会記録、肺結核患者の精神状態に関する卒業論文の要旨。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考	
I	61	+	[メモ]	(Behaviorismus) Verhaltungspsychologie/ 近世心理学の系譜。	千葉胤成		(昭和30年代後半)		2点		
I	61	1	[メモ](Behaviorismus) Verhaltungspsychologie	行動主義に関するメモ。用紙右上に頁番号 があり、17～23頁まで。	千葉胤成			メモ	1点(7枚)	紙背は乳幼児の行動論的研究(昭和36年4月4日、 部分)、攻撃性の成立条件に関する研究、文理学部 行事予定表(昭和37年2月、部分)。	
I	61	2	[メモ]	近世心理学に関する学問的系譜をまとめた ものか。	千葉胤成			メモ	1点(12枚)	クリップ外した。紙背は日本大学文学研究科博士課 程入学志願者選考基準案(昭和36年1月26日)、 リーディングルーム開設に関する件(昭和36年10月 5日・図書館)など。	
I	62	+	[原稿・メモ等 日本芸術のこ ころ①]	(第28回日本心理学会、昭和39年10月。千 葉胤成『日本芸術のこころ』誠信書房、1965 年)	千葉胤成		(昭和38年)		99点		
I	62	1	+	[原稿・メモ等]茶道と茶人			(昭和38年)		24点		
I	62	1	1	[原稿]茶道と茶人	茶の伝来から近世末までの茶道・茶人の歴 史。	千葉胤成	(昭和38年)	メモ	1点(17枚)	紙背は日本応用心理学会会則、昭和38年4月付同 学会大会案内、日本催眠医学・心理学会会則、昭 和38年2月付阿部次郎全集月報執筆依頼など。	
I	62	1	2	[メモ等]	茶道と茶人に関するメモ等(珠光・紹鷗・利 休など茶道家について/ものあはれ・侘 び(紹鷗・利休・俊成)/茶道(敬一つゝしみ 一控え目一十三夜の目)/茶道(侘び一(吉 沢)一平安数寄屋生活一室町の一)/芸術 一茶(侘び一慎しみ(吉沢)一国民性一日国 大主)/茶道の精神一江月和尚一「如実自 在」/(雑誌切り抜き)満岡忠成「茶陶につ いて」(『茶の友』昭和26年7月)/芸術一茶(づ しりとした圧力一八木一夫四五才のとき)/ 外人(グルッセ)の陶器観/日本芸術のこ ろ/岡倉覚三・茶の本(村岡博訳・岩波文庫 491、昭和11年第12刷)/茶道用語/(新聞 切り抜き)文芸時評(上)(林房雄、重厚な 「秀吉と利休」)/外人(アメリカ)の言/茶道 (茶芸術 宗祇・宗鑑の連歌俳諧、芭蕉一能 楽の世阿弥・禅竹一珠光・紹鷗の茶の湯)/ 芸術一茶/鈴木半茶「茶人石州のことども」 (茶道雑誌、昭和25年4月号2-9)/梅沢曙 軒「茶陶の再吟味」(茶道雑誌、昭和26年1 月号9)/堀口捨巳「利休竹竹について」(茶 道雑誌、昭和24年3月第13巻3号)/高原慶 三「茶杓篇」(茶道雑誌、昭和23年11号)/ 陶工長次郎について/上田信一「持ち味の こと」(茶道雑誌 昭和25年3月号9-11)/茶 道と茶人の全体構成)。	千葉胤成				23点(31 枚)	
I	62	2	+	[原稿・メモ等]能の特徴と固有 意識			(昭和20年代～30 年代)		61点		
I	62	2	1	[原稿 能の特徴と固有意識]	千葉胤成			メモ	1点(8枚)		
I	62	2	2	[レジュメ 能の特徴と固有意 識]	千葉胤成			メモ	1点(3枚)		
I	62	2	3	[原稿]能面と固有意識	千葉胤成			メモ	1点(19枚)		
I	62	2	4	[能面の図]	千葉胤成				1点(1枚)		
I	62	2	5	[原稿]能面の分類	千葉胤成			冊子	1冊(13頁)		
I	62	2	6	[参考文献一覧]	千葉胤成		昭和23年7月25日	メモ	1点(1枚)		
I	62	2	7	[原稿]能面と固有意識―雪 の小面―を中心にして―	千葉胤成		昭和23年8月13日	原稿用紙	1点(5枚)		

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	62	2	8 [原稿 能における固有意識的意義]	6～7頁の間に星井陸郎「松に音する」(『茶道雑誌』昭和26年7月号)からの抜き書きメモが挟まれている。新潟県教育長企画調査課より新潟市黒田正典宛封筒の中に入っている。封筒裏には「(能の精神)」と書かれている。	千葉胤成		昭和26年頃	メモ	1点(9枚)	
I	62	2	9 [原稿]能の精神		千葉胤成		昭和30年6月22日	メモ	1冊(10枚)	
I	62	2	10 [メモ等]	能と固有意識に関するメモ等(藤井和義「中世芸道における伝統と型(1)」(能・昭和23年第2巻第1号)／藤井和義「中世芸道における伝統と型(2)」(能・昭和23.2-2-5)／藤井和義「中世芸道における伝統と型(3)」(能・昭和23.3-2-5)／六平太郎は語る(能・昭和23.3-18)／古川久「学生と狂言」(能・昭和23.3-10)／三宅航一「日本の芸術—能を通じて見る—」(昭和25年郵政省内通信教育研究会)／広瀬政次「六平太と華雪の芭蕉」(能・昭和22年11・12月合併号34-35)／小面(固有表情)／『古人今人』第118号(生方敏郎執筆編集発行、昭和37年4月25日)／「花伝書の発見」との記事あり)／松野奏風「能の演出とその特性」(『観世』昭和33年3月号)／宇治川久「石門心学と謡曲—本誌表紙図案に関連して—」／喜多古能「仮面譜」／能面作家系譜(鈴木慶雲能面展記念、昭和30年2月)／野々村芥斐「世阿弥の芸術と評価の尺度(上)」(『観世』36年9月号)／野々村芥斐「世阿弥の芸術と評価の尺度(下)」(『観世』36年10月号)／関根雄雄「舟弁慶(本田秀男)—能楽彫像論—」(『能楽思潮』1960年11月)／木村利行「般若抄」(『能楽思潮』1960年11月)／宝生九郎「いつ見ても同じに」(能・昭和26年12月)／山本真次郎「○涼の族」(能・昭和26年10月)／吉田精一「能と歌舞伎」(能・昭和26年10月)／井浦芳信「能楽の展開—世阿弥・音阿弥」(能・昭和26年10月)／小島英幸(政大教授)「能面の中間表情説をめぐって」(能・昭和26年12月)／大河内俊輝「囃子素描(一)」(『能楽タイムズ』第36号、昭和30年3月1日)／大河内俊輝「囃子素描(二)」(『能楽タイムズ』第37号、昭和30年4月1日)／片山九郎右衛門「先代梅若万三郎先生の芸 松の落葉 第3回」(『観世』昭和30年2月号)／片山九郎右衛門「評釈 至花道」／吉川英士「邦楽における謡曲の位置」／金香信高「発声法私見」(能・第4巻第9号 昭和25年9月)／佐野萌「顔」(能・第4巻第11号)／能・第4巻第9号 昭和25年9月、杉市太郎／平富武次「箱根行」(能・第4巻第9号 昭和25年9月)／小西甚一「うはごと」(能・第4巻第11号 昭和25年11月)／敷村鉄雄「鼓雑感」(能・第4巻第11号)／新開良三「演劇として見た能」(能・第4巻第10号 昭和25年10月)／金剛蔵「能と能面」／松浦一「生命の焦点」(能・第3巻第2号 昭和24年2月)／宝生新「気合が大切	千葉胤成			罫紙	52点	
I	62	3	+	[原稿・メモ等]南画と固有意識			(昭和27年)		7点	
I	62	3	1	[原稿]南画と固有意識	千葉胤成		昭和27年9月10日	メモ	1冊(28枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～28頁まで。
I	62	3	2	[原稿 南画における固有意識的意義]	千葉胤成			メモ	1点(6枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、11～16頁まで。
I	62	3	3	[レジュメ 南画における固有意識的意義]	千葉胤成			罫紙	1点(3枚)	
I	62	3	4	[原稿 東洋画の精神／禅と剣]	千葉胤成			罫紙	1点(5枚)	電報用箋に記載／頁番号があり、14～17頁まで。
I	62	3	5	[原稿]水墨画(滲じみ)	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	62	3	6	[メモ]矢代幸雄 日本美術総覧	矢代幸雄			メモ	1点(8枚)	
I	62	3	7	[レジュメ 日本における書画について]	南画など。	千葉胤成		罫紙	1点(10枚)	
I	62	4	+	[原稿・メモ等]俳道と固有意識			(昭和30年代前)		7点	
I	62	4	1	[原稿]俳道と固有意識	千葉胤成			メモ	1冊(12枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～12頁まで。
I	62	4	2	[原稿 蕉風の特質について]	千葉胤成			メモ	1点(12枚)	頁番号があり、20～30頁まで。
I	62	4	3	[原稿]俳句の特質	千葉胤成			メモ	1点(20枚)	頁番号があり、1～18頁まで。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	62	4	4 [原稿] 俳道と固有意識		千葉胤成		昭和32年	メモ	1点(15枚)	紙背は昭和32年5月15日付東北大学文学部宗教学研究室より『文化』執筆依頼、昭和32年6月17日付日本大学法・文学部教務課より追試問題提出依頼、昭和32年6月17日付総長高橋里美・黒川利雄歓送迎会の出席依頼、昭和32年6月18日付日本教育心理学協会より役員投票依頼等。
I	62	4	5 [新聞切り抜き]	「ドイツ人と俳句／宗教的世界観に共通の場／渡辺格司」(昭和31年6月8日)、「学芸／ムッチョーリ氏日本文学を語る／「幽玄」と「さび」に共感／イタリアで日本研究40年」 「ソ連の文学論争その後／ソ連作家同盟で書く／松岡洋子」(昭和31年6月30日)。	朝日新聞社		昭和31年6月	切り抜き	2点(2枚)	
I	62	4	6 [原稿] 俳句(さび)		千葉胤成			メモ	1点(4枚)	紙背は文学部心理学科学生による日本移民の心理についての研究報告(部分)。
I	63		[原稿・メモ等 日本芸術のこころ②]	(第28回日本心理学会、昭和39年10月。千葉胤成『日本芸術のこころ』誠信書房、1965年)	千葉胤成		(昭和40年)		21点	
I	63	1	[原稿 正誤表]		千葉胤成			原稿用紙	1通(1枚)	
I	63	2	[原稿 能]				昭和23年・37年		2点	
I	63	2	1 [原稿] 能面一雪の小面を中心にして一		千葉胤成		昭和23年8月	メモ	1冊(22枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～20頁まで。
I	63	2	2 [原稿 能楽]	目次:1能の歴史、2演出、3舞台、4番組、5能面のこと、6能の精神／35-2-1は「5能面のこと」にあたる。	千葉胤成		昭和37年5月29日	ノート	1冊(51頁)	目次頁にメモ2枚挟まれている。
I	63	3	[原稿・メモ等] 日本芸術のこころ まえがき、緒言、むすび				昭和35年～昭和40年		12点	
I	63	3	1 [原稿 能面の大きさの表]	能面の全長・額の長さ・顔の長さを示す表の原稿。	千葉胤成				1点(1枚)	
I	63	3	2 [写真 芭蕉像・池大雅像・池大雅墨竹図ほか]	挿図の写真。	千葉胤成		昭和40年5月13日		5点	
I	63	3	3 [原稿 日本の芸術への興味 およびその考察方法など]		千葉胤成				1点(1枚)	
I	63	3	4 [原稿 著書発行に際しての謝辞]		千葉胤成				1点(1枚)	
I	63	3	5 [メモ]	「心理学ノ終リノ章ニオイテ生成発展ノ問題ヲ取扱ツテイル・・・」など。	千葉胤成				1点(1枚)	
I	63	3	6 [挿図原稿 舞台図]	『日本芸術のこころ』の挿図。	千葉胤成				1点(1枚)	
I	63	3	7 [原稿] 日本芸術のこころ		千葉胤成		昭和35年5月23日	メモ	1点(14枚)	紙背は、心理学実験のレポート、1963年9月付日本催眠医学心理学会事務局より図書論文寄贈の依頼、昭和38年11月25日付「見果てぬ夢」出版記念会出席依頼など。用紙右上に頁番号があり、1～11頁、25～27頁まで。
I	63	3	8 [原稿] 日本芸術のこころ		千葉胤成		昭和35年5月23日	メモ	1点(17枚)	35-3-7のコピー。校正の書込みあり。
I	63	4	[原稿・メモ等] 南画と固有意識				昭和27年9月～昭和35年8月		3点	
I	63	4	1 [原稿] 南画と固有意識		千葉胤成		昭和27年9月3日	メモ	1冊(31枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～30頁まで。
I	63	4	2 [原稿] 南画原稿下書	「南画と固有意識」の原稿。	千葉胤成		～昭和35年8月16日	野紙	1点(14枚)	メモ2枚あり。
I	63	4	3 [メモ 黒池篇・王虚舟からの抜き書き]		千葉胤成			野紙	1点(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考	
I	63	5	[原稿]俳道と固有意識	表紙に「昭和31年(1956)7月立教大(第20回日本心理学会)」とあるノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～74頁まで／昭和37年10月5日付朝日新聞切り抜き「重厚・精刻な句法／飯田蛇笏の死をいたむ／石田波郷」が18～19頁に挟まれている。	千葉胤成		昭和31年7月	メモ	1冊(77枚)		
I	63	6+	[原稿]茶道と固有意識				(昭和38年)		2点		
I	63	6	1	[原稿]茶道と固有意識	千葉胤成			メモ	1点(38枚)	紙背は昭和38年1月付聖和学園短期大学教務課より保育科専門科目および担当者表、昭和38年1月付日本催眠医学心理学会事務局より運営委員長選挙・会費徴収等に関する連絡、昭和38年12月付日本大学文理学部長より第一部専門課程学年末試験の実施要項、昭和38年3月28日付日本心理学会第27回大会準備委員長より理論部門座長の依頼、昭和38年7月東北大学心理学茶話会学友消息係より住所録カード等の送付依頼、1963年7月12日付松本金寿よりソビエト心理学会出席に際しての寄付に対する礼状、昭和37年9月千葉胤成履歴書など。用紙右上に頁番号があり、1～36頁まで。2つに分割されている。	
I	63	6	2	[メモ]桑田忠親 茶道における侘(茶道雑誌 昭和26年12月)	桑田忠親「茶道における侘」からの抜き書き。	千葉胤成		昭和26年12月	罫紙	1点(1枚)	
I	64			[原稿・メモ等 日本芸術のころ③]	(第28回日本心理学会、昭和39年10月。千葉胤成『日本芸術のころ』誠信書房、1965年)	千葉胤成		(昭和40年)		36点	
I	64	+	1	[原稿]茶道の精神	1「侘び」と「さび」、2知足—控え目—、3和—調和と取合せ—、4創意—自由—、5自然	千葉胤成		昭和39年10月3日	メモ	1冊(10頁)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～10頁まで／表紙に「第6回日本教育心理学会(九大)昭和39年10月3日」とある。
I	64	2	[原稿]日本芸術のころ		千葉胤成		昭和35年5月23日	メモ	1冊(9枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／用紙右上に頁番号があり、1～7頁まで。	
I	64	3	[原稿]東洋・日本の芸術]	2能楽、3南画、4俳句、5茶。	千葉胤成		昭和30年代か	メモ	1点(13枚)	紙背は学科目表。頁番号があり、12～24頁まで。	
I	64	4	[原稿]ラファエロ・サンチオについて	1生涯、2製作活動、3代表的製作	千葉胤成		昭和27年9月26日	罫紙	1点(7枚)		

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考	
I	64	5	[メモ等]	日本芸術のころに関するメモ等(南啓・南坊録／堀江知彦「余技か本技か—大雅の書—」(大法輪、昭和40年9月号)／著書の構成に関するメモ／茶の湯における師弟関係、人物履歴等／茶道の精神(「千葉胤成先生述 昭和39年12月7日」とあり)／日本芸術のころ目次／ドナルド・キーン、エレノア・スチワート、江藤淳他の発言のメモ／「見えないころ」の構成／「日本芸術のころ」の構成／河北倫明「坂本繁二郎」(日本近代絵画全集12、講談社、昭和38年)／坂本繁二郎関係メモ／火野葦平「坂本繁二郎」／日本文化史略年表／古代から現代までの文化について／和辻哲郎『風土—人間学的考察』(岩波、昭和19年、第12刷)／関鼎訳「インドの音楽」(音楽之友社、昭和41年)／日本美術座談会 矢代幸雄・小林秀雄・亀井勝郎)／村松梢風「畫人博の副産物—華山の厚木紀行—」／川端康成『名人』角川文庫、昭和32年／大村西涯『文人画の復興』(大正十年、巧芸社)／太宰施門「狂言とファルス」(能・昭和26年1月号)／荏原放平「人間兼資翁」(能・昭和26年1月号)／生島・片山・三宅「能楽鼎談」(能・昭和26年1月号)／只野淳「コケシの美」(読売、昭和22年11月23日)／高野辰之『歌舞音曲考説』4能舞台の松／戸板康二「松と老人と(翁の語り)」(能・昭和25年12月号)／荒木十畝「東洋畫論」(小学館、昭和18年)／坂崎担「日本画の精神」(昭和16年)／海老塚四郎兵衛(的伝)『朝來夕佳亭夜話』(昭和25年8月)／心の国宝(芸術新潮25年9月、石井鶴三「広隆寺の弥勒」、和辻哲郎「薬師寺三尊」、上野直昭「室生寺の釈迦像」藤島亥治郎「桂離宮」、安田鞠彦「源頼朝像」、高橋誠一郎「歌麿の女絵」、矢代幸雄「百済観音」)。	千葉胤成				メモ	32点(119枚)	
I	65		[原稿・メモ等 日本芸術のころ④]	(第28回日本心理学会、昭和39年10月。千葉胤成『日本芸術のころ』誠信書房、1965年)	千葉胤成		昭和40年		23点		
I	65	1	[書簡 賭梅詩について]		港区麻布筈町 寺澤孝誠	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年8月29日	はがき	1通(1枚)		
I	65	2	[書簡 梅詩詠物について]		港区麻布筈町 寺澤孝誠	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年8月28日	封書	1通(2枚)		
I	65	3	[書簡 「日本芸術の心」初版検印紙への捺印依頼]		株式会社 誠信書房 取締役社長 柴田乙松	千葉胤成	昭和40年8月18日	書簡	1通(1枚)		
I	65	4	[原稿 正誤表]					原稿用紙	1点(7枚)		
I	65	5	[メモ]	日本芸術のころに関するメモ(俳諧や能、画、茶道に関する文献のリスト／題字(日本芸術のころ)の習書／日本芸術との接点について／梅詩・詠物など／編集日誌(原稿の受取・発送の日誌)／メモ(「華山 四獄ノ一 山ノ名州ノ名」とある)／構成について／マーティン・コーエンについて(『能楽タイムズ』(昭和40年4月)からの抜き書き)／用語・人名についての説明(鴨長明・与謝蕪村など)／校正の指示／日本芸術のころ 目次／挿図の指示／英語の用語の対訳／俳諧・茶・能に関する先行研究／文献リスト)。					メモ	19点(45枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	66		日本芸術のこころ 正誤表	同じ正誤表(1枚)が106枚ある。			昭和40年		1点(106)	
I	67		[原稿・メモ等]戦後二十年 日本心理学理論方面の展望	(心理学研究、昭和41年2月)	千葉胤成		(昭和41年)		10点	
I	67	+								
I	67	1	[原稿 自身の研究に対する回顧と今後の展望について]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	67	2	[論文リスト]	昭和22年~36年に発表した論文のリスト。	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	67	3	[新聞切り抜き]	「孤立感かみしめよ EECと日本の立場 中山伊知郎」(昭和37年3月5日)、「みんなで歩んだ20年」(昭和40年8月15日)	朝日新聞社		昭和37年・昭和40年	新聞切り抜き	2点(2枚)	
I	67	4	[メモ]	論文「最近の心理学」の構成について	千葉胤成			メモ	1点(2枚)	
I	67	5	[原稿]	Lewin Kurt、人格(人間性)、Sandir、精神分析的心理学、無意識・固有意識・唯識、無意識(固有意識)についての語句説明。	千葉胤成			メモ	1点(6枚)	紙背は学生のレポート。
I	67	6	[メモ]	発表者の順序、発表内容について。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	67	7	[文献リスト]	Psychologia、文化、教育科学、新大教育心理学科論集、教育心理学研究に掲載されている論文。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	紙背は昭和37年2月付日本大学文理学部教務課より学年末試験答案の送り状。
I	67	8	[文献リスト]	日本心理学会次第書・論文集、心理学研究、教育心理学研究、Psychologia、理論心理学会抄録、文化に掲載されている論文。	千葉胤成			メモ	1点(7枚)	頁番号があり、1~3、5~8頁まで。
I	67	9	[メモ 学会の動向について]	学会報告、掲載論文等のこれまでの動向に対する検討メモ。	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	
I	68		[原稿・メモ等]心理学の立場からの研究対象の構造	第32会日本心理学会、昭和43年7月。	千葉胤成		昭和43年		12点	
I	68	+								
I	68	1	[原稿・メモ等 心理学の対象]				昭和43年		4点	封筒入り。
I	68	1	[新聞切り抜き]	「豊原大潤／他力本願の意味／仏のまことのみ力 有限な人間の外に仰ぐ／修業／少年棋士真部一男君／一手に入念の読み」	朝日新聞社		昭和43年2月18日	新聞切り抜き	1点(1枚)	
I	68	1	2	砂川一郎「結晶の人相見」	『学士会報』1968- I、No698、23~28頁を切り抜いたもの。		1968年	活字印刷物	1点(6頁)	
I	68	1	3	[原稿]意識・無意識の構造と心理学の立場		千葉胤成	昭和41年10月5日	メモ	1冊(5枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「205—原論草稿 221-222」とある。
I	68	1	4	[原稿]心理学の対象としての固有意識		千葉胤成	昭和41年5月27日	原稿用紙	1点(1枚)	
I	68	2	[メモ 心理学の立場からの研究対象の構造および安藤昌益について]	「心理学の立場からの研究対象の構造」の原稿と「狩野亨吉遺文集」等から安藤昌益に関する部分の抄録。	千葉胤成		昭和43年2月24日	メモ	1点(8枚)	
I	68	3	[原稿]心理学の立場からの研究対象の構造	未使用原稿用紙4枚、「発表論文集原稿作成上の注意」含む。	千葉胤成		昭和43年2月24日	原稿用紙	1点(6枚)	
I	68	4	[原稿]心理学の立場からの研究対象の構造—補捉	安藤昌益・仏教について	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	
I	68	5	日本心理学会第32回大会案		日本心理学会		昭和43年	活字印刷物	1通(1枚)	封筒あり。
I	68	6	心理学の立場からの研究対象の構造図式	揭示用の図。	千葉胤成			他	1点(1枚)	
I	68	7	[原稿]心理学の対象	1序論、2心的なるものの特徴 第1 主観性、3心的なるもの第2の特徴 現実性、4心的なるもの第3の特徴 統一性、5心理学の対象の拡張、6精神科学としての心理学	千葉胤成			メモ	1点(53枚)	
I	68	8	[ノート]心理学の対象 第一冊(二冊の中)	「写：胤高」とある／2意識、3意識の表徴				ノート	1冊	
I	68	9	[ノート]心理学の対象 第二冊(二冊の中)	「写：胤高」とある／5意識の種別、総括／メモ1枚含む。				ノート	1冊	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	69		[書簡]	問い合わせに対する返答および同封資料についての説明。同封資料は、カントの「知」の概念の区別についてのメモ、ディルタイの「抵抗の経験」のIMPULS UND WIDERSTANDの項の複写、ベルグソンの「知性」についてのメモ。	東北大学文学部研究室 木場深定	千葉胤成	昭和43年11月14日		1通(13枚)	
I	70	+	[原稿 仏教における時間の問題]	安倍博士記念論文集、昭和43年12月。	千葉胤成		昭和43年～昭和44年		8点	
I	70	1	[論文]仏教における時間の問題	安倍三郎先生古希記念論文集『現代心理学論集』(別冊)、明星大学心理学研究室編。	千葉胤成		1968年6月17日	冊子	1冊(18頁)	
I	70	2	[原稿]仏教における時間の問題(抄)	論文「仏教における時間の問題」の講演原稿か。	千葉胤成		昭和44年2月14日	メモ	1冊(10枚)	
I	70	3	[レジュメ]道元と時(有時の巻)	講義で用いたものか。	千葉胤成			メモ	1点(12枚)	紙背は心理学実験レポート、日本心理学会理事会より会員宛通知など。
I	70	4	[原稿]仏教における時間の問題		千葉胤成		1968年6月17日	メモ	1点(22枚)	紙背は心理学実験のレポート、学士会午餐会出席者名簿、日本心理学会理事会開催通知など。
I	70	5	[レジュメ]仏教における時間		千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	70	6	[レジュメ]仏教における時間(正法眼蔵を中心に)		千葉胤成			メモ	1点(7枚)	紙背は心理学実験のレポート等。
I	70	7	[原稿 仏教における時間]	1仏性、2時間とは、3経歴の功德、4諸法(存在)は無情にして常住(無我)法住位。	千葉胤成			メモ	1点(13枚)	紙背は昭和42年6月28日付日本心理学会理事会開催通知、1967年6月24日付日本心理学会 理事・監事名簿、心理学実験のレポート、学士会午餐会出席者名簿など。
I	70	8	[原稿]哲学的人間学と実存哲		千葉胤成			メモ	1点(13枚)	紙背は年間予定表(部分)等。
I	71	+	[原稿・メモ等 東洋の心と西洋の心—キリスト教対仏教—]	(第33会日本心理学会、昭和44年8月)	千葉胤成		昭和44年		14点	
I	71	1	[原稿・メモ等 東洋の心と西洋の心]		昭和44年				9点	封筒入り。
I	71	1	1 [原稿]東洋の心と西洋の心	18・19頁に「本論梗概」として、目次が記されている(1世界の主なる宗教の信者数、2東方、3西方、4東と西、5念仏と禪)。	千葉胤成		昭和44年8月9日	メモ	1冊(24枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～20頁まで。
I	71	1	2 [メモ]笹本戒浄「真実の自己」	笹本戒浄「真実の自己」(昭和19年)からの抜き書き。	千葉胤成		昭和44年8月17日	メモ	1冊(7枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1～6頁まで。
I	71	1	3 [メモ等]	東洋の心と西洋の心に関するメモ等(「特派員の目 白井健策/不思議な“大国”パチカン/“六億の民”への影響力 国際政治でも強い意欲」(『朝日新聞』昭和44年4月8日)／メモ 論文集の序論のメモか(『論文集所載:序論』、「1.世界の主宗教の信者数:西キリスト教東仏教」、「2.東方」、「3.西方」、「4.西と東」など)／西洋の心と東洋の心—キリスト教的と仏教的／Sprenger/日本人観／笹本戒浄・真実の自己 昭和19年／仏教の変遷の年表風の図(Aria種Panyab住:凡紀元前1500(巨今3455)以前、南東「インド」浸出約600(巨今2555)頃)／名刺(羽衣短大・塚YMCA講師 安西二郎)。				メモ	7点(8枚)	
I	71	2	[レジュメ インドの宗教史]	1仏教外インドの宗教、2釈尊一代、3根本仏教、4小乗仏教、5大乘仏教、6大乘仏教の組織、7大乘仏教の発展—唯識思想—。	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	71	3	[原稿]東洋の心と西洋の心—仏教—キリスト教—		千葉胤成			メモ	1点(10枚)	紙背は学生の教育心理・教育原理のレポート(部分)。
I	71	4	[レジュメ]	古代東方の文化、北方マケドニアの興隆、サマルカンドの失敗、バラモン教など。	千葉胤成			メモ	1点(12枚)	紙背は学生の教育心理のレポート、昭和44年4月1日付日本心理学会第33回大会案内など。
I	71	5	[メモ]	「12因縁(149)」とあるのみ。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	71	6	[原稿用紙 白紙]		千葉胤成			原稿用紙	1点(2枚)	
I	72	+	[文献リスト等]		千葉胤成		昭和44年		5点	封筒に「126」「研究生活」とあり。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	72	1	[書簡 Nicolas Hartmanについて回答]		木場深定	千葉胤成	昭和44年6月28日	はがき	1通(1枚)	
I	72	2	[書簡 N.ハルトマン「精神的存在の三形態」について]	N.ハルトマン「精神的存在の三形態」についての解説等の送付状、および、添付書類として、Nicolai Hartmann, Das Problem des Geistigen Seinsからの抜き書き、Personales Geist, Objektiver Geist, Objektibierter Geistについての説明の2点がある。	木場深定	千葉胤成	6月29日	書簡	1通(4枚)	
I	72	3	[メモ 心理学関係文献リスト]	3点あり、内1点は他の1点の複写。	千葉胤成				3点(13枚)	
I	73		[原稿]日本心理学会の過去と将来	第34回日本心理学会シンポジウム、昭和45年8月。	千葉胤成		昭和45年		4点	
I	73	1	[原稿]日本心理学の過去と将来—主として戦後4半紀日本心理学理論方面研究の展望と動向—		千葉胤成		昭和45年8月6～11日	メモ	1冊(23枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。1～20頁まで。
I	73	2	Die Zukunft des Zen[禪の将来]	ドイツ大使館書記官Dr. Nils Grueber氏談話要旨。1 西洋の精神的状況、2 答としての禪、3 西洋に於ける禪。				冊子	1冊(11頁)	独文および和文。
I	73	3	発表論文集原稿の作り方		日本心理学会		昭和45年8月	活字印刷物	1部(2枚)	
I	73	4	日本心理学会第34回大会プログラム		日本心理学会		1970年8月28～30日	冊子	1冊(56頁)	
I	74		[原稿・メモ等]戦後二十五年日本心理学界理論方面 研究の展望と動向	第34回日本心理学会シンポジウム、昭和45年8月。	千葉胤成		昭和38年9月5日		3点	
I	74	1	[原稿]戦後25年(4半世紀)日本心理学理論方面研究の展望と動向	第27回日本心理学会での報告原稿か／I 回顧、II 課題、III 展望(1)、IV 展望(2)、V 動向	千葉胤成		昭和38年9月5日	メモ	1冊(35枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号あり、1～28頁まで。13頁と14頁の間に附表3枚あり。
I	74	2	[メモ]	世界の心理学会から見た日本の心理学／日本心理学理論方面研究の展望と動向(部分)	千葉胤成			メモ	2点(4枚)	
I	75		[原稿]禪と念佛—問題の提起—	(第35回日本心理学会、昭和45年8月)。	千葉胤成		昭和45年8月20日	メモ	1冊(13枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号あり、1～12頁まで。
I	76		[書簡等]	フリードリッヒ・ザンダーとのやりとりに関するもの。	千葉胤成	Friedrich Sander	(昭和45年前後)		7点	独文。
I	76	1	[封筒]		Prof.Dr.Friedrich Sander 53 Bonn,Lutfridstr.8	Prof.Dr.Tanenari Chiba Tokyo Nerima-ku		封筒	1点	
I	76	2	[書簡下書 Sehr verehrter.lieber Herr Kollege!]		千葉胤成		1969年10月30日	メモ	1点(1枚)	独文。
I	76	3	[書簡下書 Vereheter Herr Kollege Dr.Fröhlich!]		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	独文。
I	76	4	[書簡 Sehr verehrter.lieber Herr Kollege!]		千葉胤成	Friedrich Sander		タイプ印刷物	1通(1枚)	独文。
I	76	5	[書簡 Hoch verehrter.lieber Herr Kollege!]		T.Chiba		1971年1月10日	便箋	1通(2枚)	独文。
I	76	6	[千葉胤成宛封筒]	[Sander 八〇號 Fröhlich]と朱書きあり			昭和44年8月4日	封筒	1点	
I	76	7	[論文抜刷]Drei Abhandlungen von Friedrich Sander aus dem Jahre 1967	AKADEMISCHE VERLAGSGESELLSCHAFT FRANKFURT AM MAIN 1969	Wilhelm Salber,Köln		1968年12月27日	冊子	1冊(7頁)	
I	77		[原稿 著作集1]第I部 心理学の対象	著作集第1巻。校正のためのコピー。	千葉胤成		(昭和46年)	複写物	1点(68枚)	
I	78		千葉胤成著『現代の心理学』	協同出版株式会社、昭和24年12月10日発行／表紙上部に「(記入済)」と書込みあり／見返しに校正の凡例が書き込まれており、目次・本文などに校正の朱書きがある。著作集第1巻用の校正か	千葉胤成		(昭和46年)	書籍	1冊(299頁)	206～207頁の間に原稿のコピー6枚が挟み込まれている。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	79		[原稿 著作集第1巻第1編]	心理学原論目次、近代心理学における理論の展開—人と学説目次、はしがき、まえがき、心理学原論(まえがき、第I部心理学の対象<1心理学の対象、2無意識、3意識、4意識の表徴、5意識の統制、6意識の種別、7全体精神、8心理学の方法一般、第II部心理学の方法<8心理学の方法一般、9全体心理学の研究法、10心理学方法の基礎問題>)。	千葉胤成		昭和42年9月22日	原稿用紙	1点(19綴・1157枚)	
I	80	+	[著作集1に対する意見等]	黒田正典・北村晴朗からの意見。	千葉胤成				11点	
I	80	1	[書簡 原稿に対する意見]		仙台市八木山松ヶ丘 黒田正典	練馬区上石神井 千葉胤成	1月21日	封書	1通(5枚)	
I	80	2	[メモ 校正関係]		千葉胤成			メモ	1点(3枚)	
I	80	3	[メモ 原稿(II無意識)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(II無意識)に対する意見。				原稿用紙等	1点(4枚)	
I	80	4	[メモ 原稿(III意識)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(III意識)に対する意見。				原稿用紙等	1点(7枚)	
I	80	5	[メモ 原稿(IV意識の表徴)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(IV意識の表徴)に対する意見。				原稿用紙等	1点(5枚)	
I	80	6	[メモ 原稿(V意識の統制)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(V意識の統制)に対する意見。				原稿用紙等	1点(3枚)	
I	80	7	[メモ 原稿(VI意識の種別)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(VI意識の種別)に対する意見。				原稿用紙等	1点(4枚)	
I	80	8	[メモ 原稿(VII全体精神)に対する意見]	黒田・安倍からの千葉原稿(VII全体精神)に対する意見。				原稿用紙等	1点(5枚)	
I	80	9	[メモ 原稿(VIII心理学の方法)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(VIII心理学の方法)に対する意見。				原稿用紙等	1点(6枚)	
I	80	10	[メモ 原稿(IX全体心理学の方法)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(IX全体心理学の方法)に対する意見。				原稿用紙等	1点(2枚)	
I	80	11	[メモ 原稿(X心理学方法の基礎問題)に対する意見]	黒田・北村からの千葉原稿(X心理学方法の基礎問題)に対する意見。				原稿用紙等	1点(2枚)	
I	81		[原稿 著作集1]近代心理学における基礎理論の展開—人と学説—	序説、1新心理学への橋渡し、2新心理学の誕生、3近代心理学の先達、4最近の心理学、5最近の心理学の前景に現れている諸方向、6諸方向に含まれている基本概念。	千葉胤成		(昭和45年)	原稿用紙	1点(13綴・775枚)	
I	82		[原稿 著作集第2巻]	まえがき、目次、無意識の心理学、相対的固有意識、識別作用の非相称性について、最遠の回想、感情の問題、無記感情、再び“気”について、感情優位の問題、固有意識としての意志、全体心理学の方法について、了解における客観性の問題、意識性の問題、業績目録など。	千葉胤成		(昭和46年)	原稿用紙	1点(19綴・860頁)	
I	83	+	[原稿 著作集第3巻]		千葉胤成		(昭和46年)		6点	
I	83	1	[原稿 著作集第3巻]	目次、第3巻はしがき・第I編まえがき、教育心理学、母性愛、世阿弥と新教育、十二・三より、発達心理学、新教育の基礎としての二大心理学的問題、天才について、技能遺伝の一例、淡窓の跡を訪ねて、婦人の教育についての二三の私見・研究生活における心構えと気構え、自らする自らの教育、教員養成機関としての教育学部の使命および使命達成の方途について、教育指導者のあり方について、森のこころ。	千葉胤成		(昭和46年)	原稿用紙	1点(34綴・1847頁)	
I	83	2	[原稿 千葉胤成著作集第3巻目次案]		千葉胤成			原稿用紙	1点(47枚)	
I	83	3	[原稿 千葉胤成著作集全巻の目次案]		千葉胤成			原稿用紙	1点(10枚)	
I	83	4	[原稿]人名索引		千葉胤成			原稿用紙	1点(4枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	83	5	[原稿]人名索引		千葉胤成			原稿用紙	1点(15枚)	
I	83	6	[原稿]事項索引		千葉胤成			原稿用紙	1点(11枚)	
I	84	+	[原稿等]	主に著作集3に關係するもの。			昭和20～30年代		17点	
I	84	1	[原稿]意識性の問題—唯識のプレナーノ—	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅱ 8.77.意識性の問題—唯識とプレナーノ—／昭32.10.5;原55(77)／○第21回日本心理学会、昭和32年、1957、10月、九大／(34.10.5)」とある／頁番号があり、1頁より14頁まで／昭和32年8月30日付『朝日新聞』切り抜き(あいまいな言葉(27)主観・客観／正比例し切り離せぬ／問題は“境界線”の引き方)あり。	千葉胤成		昭和32年10月5日	メモ	1冊(15枚)	
I	84	2	[原稿]心理学研究法トシテノ了解		千葉胤成		昭和35年7月10日	メモ	1冊(50枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅱ 10.83.心理学研究法トシテノ了解／昭35.7.10;原36(48)」とある／頁番号があり、1頁より48頁まで。
I	84	3	[原稿]世阿弥と新教育		千葉胤成		昭和25年9月16日	メモ	1冊(44枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅲ 4.62.世阿弥と新教育／昭25.9.16;原43(43)／(昭和25年9月16日)佐渡加茂中学校ニテ」とある／頁番号があり、1頁より43頁まで。
I	84	4	[原稿]教育指導者の在り方について		千葉胤成		昭和23年6月25日	罫紙	1点(10枚)	封筒に「56.教育指導者の在り方について／昭二三・六・二五／昭23.6.25;原11(10)」とある。
I	84	5	[原稿]了解における客観性の問題		千葉胤成		昭和36年7月30日	メモ	1冊(50枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅱ 11.90.了解における客観性の問題／昭36.7.30;原26(48)」とある／頁番号があり、1頁より48頁まで。
I	84	6	[新聞切り抜き 大鵬・柏戸欲綱昇進]	『朝日新聞』「大鵬と柏戸を横綱に／きのう審議会で推薦」、「誕生した青年横綱／柏・鵬とも若さの新記録」	朝日新聞社		昭和36年9月27日	新聞切り抜き	2点(2枚)	
I	84	7	[新聞切り抜き 書評欄]	『朝日新聞』書評欄／島田謹二『ロシヤにおける広瀬武夫』、石川達三『充たされた生活』、南条範夫『古城物語』、吉田久一『清沢満之』、門脇禎二ほか『図説日本庶民生活史』Ⅰ、椋山欽四郎『ヘーゲル精神現象学の研究』、島田謹二へのインタビュー記事。	朝日新聞社		昭和36年7月14日	新聞切り抜き	1点(1枚)	
I	84	8	[原稿]森のころ		千葉胤成		昭和23年9月21日	メモ	1冊(41枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅳ 3.12.森のころ／昭23.9.21;原36(40)／(昭和27年6月1日)津川高校ニテ」とある／頁番号があり、1頁より40頁まで／別紙として、昭和42年4月4日付『朝日新聞』切り抜き「ノースロップ博士を思う／日本緑化運動の恩人／木村毅」、構成メモ、明和6年正月付居久根売却証文写がある。
I	84	9	[原稿]日本の音楽と西洋の音楽		千葉胤成		昭和33年5月30日	メモ	1冊(10枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅳ 2.日本の音楽と西洋の音楽／原15(10)／(昭和33.5.30)」とある／頁番号があり、1頁より10頁まで。
I	84	10	[原稿]森のころ		千葉胤成		昭和23年9月21日	メモ	1冊(40枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1頁より38頁まで。
I	84	11	[原稿]自らが自らする自らの教育—おのれと出でくる考想の育成—		千葉胤成		昭和25年1月3日	活字印刷物	1部(2枚)	表紙に「Ⅲ 10.自らが自らする自らの教育—おのれと出でくる考想の育成—」【新潟県研究指定校指導委員会の再発足に際して】／1950.1-3」とある。
I	84	12	[原稿]十二三より		千葉胤成		昭和24年10月14日	メモ	1冊(14枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅲ 5.59.『十二三より』／昭24.10.14;原12(13)／昭和24年10月新潟において」とある／頁番号があり、1頁より13頁まで。
I	84	13	[原稿]『まけ』と『なれ』—技能遺傳の一例—		千葉胤成		昭和24年11月7日	メモ	1冊(28枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅲ 6.61.『まけ』と『なれ』—技能遺傳の一例—／昭24.11.7;原13(2)／昭和24年11月新潟において」とある／頁番号があり、1頁より28頁まで。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	84	14	[原稿]最遠の回想		千葉胤成		昭和27年4月5日	メモ	1冊(13枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅱ 13.65最遠の回想／昭27.4.5:原14(12)／(昭和27年5月)日本心理学会にて」とある／頁番号があり、1頁より12頁まで。
I	84	15	宮城縣教育研究所所報 No.4	記事に「研究生活における心構えと気構え—研究の仕方の立場と行き方—」(所長 千葉胤成)がある。	宮城県教育研究所		昭和24年5月25日	活字印刷物	1部(10頁)	
I	84	16	[新聞切り抜き]続 人物告知板⑤／霊と取り組む脱俗者／新大教育学部長千葉胤成氏					新聞切り抜き	1点(1枚)	
I	85	+	[原稿・メモ等 著作集4]「たましい」を追うて		千葉胤成		(昭和46年)		5点	
I	85	1	[原稿 自伝「たましい」を追うての原稿]	1964(昭和39)年退職後について／理論心理学会会則案あり	千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
I	85	2	[メモ]	「一九二二年頃のケンブリッジの心理学主任教授の名227／一九二二年頃のワシントン国立博物館の富永氏の名232」とある。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	85	3	[メモ]研究室の設立／雑誌の刊行	心理学研究室の日本の大学における設置状況、心理学関係の雑誌の刊行状況。	千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
I	85	4	[メモ 業績目録等]		千葉胤成			メモ	1点(9枚)	
I	85	5	[メモ 自伝「たましい」を追うての構成]		千葉胤成			メモ	1点(6枚)	
I	86	+	[原稿・メモ等 著作集4]学界さすらい(京都、東北、満州心)		千葉胤成		(昭和46年)		13点	
I	86	1	[原稿]二、京都	京都心理学界の展望 明治三十九年—大正九年 昭和十七年—昭和十八年	千葉胤成		昭和27年4月	原稿用紙	1点(13枚)	
I	86	2	[原稿]五、仙台(2)	東北心理学界の展望 大正十二年—昭和十五年	千葉胤成		昭和27年4月	原稿用紙	1点(14枚)	
I	86	3	[原稿]六、満州	満州心理学界 昭和十五年—同二十年	千葉胤成		昭和27年4月	原稿用紙	1点(12枚)	
I	86	4	[原稿]七、歡喜嶺	満洲における心理学的研究の素描	千葉胤成		昭和26年8月10日	原稿用紙	1点(34枚)	
I	86	5	[書簡]在京宮城県人会役員懇談会の案内	「中学(仙一)」と朱書きあり。封筒入り。	在京宮城県人会	千葉胤成	昭和31年8月24日	はがき	1通(1枚)	
I	86	6	[メモ 自伝執筆関係／千葉家について]	千葉家の先祖について／自伝の構成／家の間取り／封筒入り。				メモ	3点(3枚)	
I	86	7	[メモ 自伝執筆関係／ヨーロッパ留学について]	Thüringen地方・Schwarzwald・Weimarなど。アメリカ・ドイツの地図・ライン川流域の地図。	千葉胤成			メモ	5点(5枚)	
I	87	+	[原稿・メモ等 著作集4]「たましい」を追うて—わが心の旅路		千葉胤成		(昭和46年)		24点	
I	87	1	[原稿]一、栗駒山	自伝「「たましい」を逐うて—わが「ころ」の旅路—」1栗駒山の原稿。1～8頁。	千葉胤成			メモ	1点(8枚)	紙背は1968年9月付日本心理学会より会員名簿についての依頼、9月1日付心理学「学友消息」発行係より原稿の依頼など。
I	87	2	[原稿]二、広瀬川(a)	自伝「「たましい」を逐うて—わが「ころ」の旅路—」2広瀬側(a)の原稿。9～16頁。	千葉胤成			メモ	1点(8枚)	紙背は昭和43年9月20日学士会9月午餐会出席者名簿など。
I	87	3	[原稿]三、加茂川	自伝「「たましい」を逐うて—わが「ころ」の旅路—」3加茂川の原稿。17頁～。	千葉胤成			メモ	1点(14枚)	紙背は昭和43年1月20日1月午さん会出席者名簿。
I	87	4	[原稿]四、コネヴィツの森	自伝「「たましい」を逐うて—わが「ころ」の旅路—」4コネヴィツの森の原稿。22～37頁。	千葉胤成			メモ	1点(16枚)	紙背は昭和42年10月20日10月定例午さん会出席者名簿、昭和42年9月20日9月午さん会出席者名簿など。
I	87	5	[原稿]五、アトラスの海から平和の海へ	自伝「「たましい」を逐うて—わが「ころ」の旅路—」5アトラスの海から平和の海への原稿。	千葉胤成			メモ	1点(9枚)	
I	87	6	[原稿]京都心理学界の展望 明治39年—大正9年 昭和17年—昭和18年		千葉胤成			メモ	1点(9枚)	1～9頁。
I	87	7	[原稿]京都心理学界の展望 明治39年—大正9年 昭和17年—昭和18年		千葉胤成			メモ	1点(12枚)	1～12頁。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	87	8	[原稿・メモ等]六、広瀬川(b)	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「六」広瀬川(b)の原稿および関係資料。	千葉胤成				12点	62-8-1-1~62-8-1-7まで一括、それと62-8-2がさらに一括されていた。
I	87	8	+							
I	87	8	1	[原稿]六、広瀬川(b)	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「六」広瀬川(b)の原稿。10~17頁。	千葉胤成		メモ	1点(8枚)	
I	87	8	2	[原稿]東北の心理学の研究の展望		千葉胤成		メモ	1点(1枚)	
I	87	8	3	[原稿]京都の心理学研究の		千葉胤成		メモ	1点(1枚)	
I	87	8	4	[メモ 生活と精神の科学叢書]	巻数・著者・表題の一覧。	千葉胤成		原稿用紙	1点(1枚)	
I	87	8	5	[メモ]晩翠(仙二)	「一、明治三八年(三年)秋 帰朝 ウィルヘルム・テル」「二、大正終り頃 対橋楼ノ土人會」「三、同じ頃 東一某料亭ノ同窓會」「四、晩年—宗教的—仏教(心靈研究)—重ナル不幸」などがある。	千葉胤成		メモ	1点(1枚)	
I	87	8	6	[新聞切り抜き]徳富蘆花 真実の巡礼者／嘘つけぬ反骨の血／生命の尊厳を守る筆の戦い		朝日新聞社	昭和43年10月6日	新聞切り抜き	1点(1枚)	
I	87	8	7	[原稿 広瀬川(b)]		千葉胤成			1点(10枚)	
I	87	8	8	[メモ プント文庫購入経緯]	プント文庫購入経緯に関するメモ、「ライブチヒ通信」原稿、心理学研究室の略歴メモなど。			メモ	5点(6枚)	封筒入り。
I	87	9		[原稿]七、歡喜嶺	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「七」歡喜嶺の原稿。18~26頁。	千葉胤成		メモ	1点(9枚)	
I	87	10		[原稿]八、広瀬川(c)	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「八」広瀬川(c)の原稿。	千葉胤成		メモ	1点(10枚)	紙背は学生の教育心理レポートなど。
I	87	11		[原稿]九、越の海	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「九」越の海の原稿。	千葉胤成		メモ	1点(11枚)	紙背は学生のレポート。
I	87	12		[原稿]一〇、武蔵野	自伝「たましい」を逐うて一わが「ころ」の旅路—「一〇」武蔵野の原稿。1~15頁。	千葉胤成		メモ	1点(15枚)	
I	87	13		[原稿 千葉胤成年譜]	昭和28年~44年まで。	千葉胤成		メモ	1点(7枚)	
I	88			[原稿 著作集第4巻]	第4巻はしがき、第I編日本芸術のころ、日本の音楽と西洋の音楽、第II編「たましい」を追うて、広瀬川a、加茂川、コネヴィッツの森、アトラスの海から平和の海へ、広瀬川b、歡喜嶺、広瀬川c、武蔵野、第III編欧文論文など。	千葉胤成		原稿用紙	1点(866頁)	
I	89			[原稿]精神物理学の問題—フェヒネルを中心にして—		千葉胤成		メモ	1冊(30枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、37頁より始まり65頁まで。
I	90			[原稿]教育原理	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載。1~114頁まで／1教育原理とは、2教育の目的、3教育の内容、4家庭教育、5学校教育、6社会教育、7教育行財政、8教育指導者としての教員の在り方。	千葉胤成		メモ	1冊(121枚)	
I	91	+		[メモ]Rohracher 心理学入門					2点	
I	91	1		[メモ]Rohracher 心理学入門 IV心理学ノ方法	Rohracher「心理学入門」からの抜き書き。	千葉胤成		メモ	1冊(52枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1~52頁まで。
I	91	2		[メモ]Rohracher 心理学入門	Rohracher「心理学入門」I有機体および心意生活、II神経系統の構造、III的過程および状態の分類からの抜き書き。	千葉胤成		メモ	1冊(81枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1~70頁まで。
I	92	+		[メモ]Rohracher / Einführung in die Psychologie					2点	
I	92	1		[メモ]	Rohracherの著作からの抜き書き。	千葉胤成		メモ	1通(6枚)	頁番号があり、1~6頁まで／紙背は学生による調査レポートか。
I	92	2		[メモ]Rohracher / Einführung in die Psychologie	Rohracher「Einführung in die Psychologie」からの抜き書き。	千葉胤成		メモ	1通(32枚)	頁番号があり、1~32頁まで／紙背は心理学実験の調査用紙か。

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	93		[メモ]Melzger 心理学実験の導入以来のその根本仮定	Welzger「Psychologie Die Entwicklung ihrer grundannahmen seit der Einfuhrung des Experiments」からの抜き書き／序論 理論心理の情勢、1心意的現実なるもの問題、2属性の問題、3連関の問題、4関係性(場所と量の)の問題、5中心化の問題、6次序の問題、7作用(効果)の問題、8精神-身体-問題、9生成の問題。				メモ	1冊(108枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／頁番号があり、1~107頁まで。
I	94		[メモ]Lersch / Aufbau der Person		千葉胤成			メモ	3点	
I	94	1	[メモ]	人の生成に関するメモ。	千葉胤成			メモ	1点(11枚)	紙背は虚言に関する調査レポート。
I	94	2	[メモ]	Lerschの著作からのメモか。Lerschにおける無意識の問題、深層心理学の概念など。	千葉胤成			メモ	1点(6枚)	
I	94	3	[メモ]Aufbau der Person von Philipp Lersch	Lersch「Aufbau der Person」からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1点(70枚)	紙背は学生による調査レポート、卒業論文要旨(1959年3月2日付)。頁番号があり、1~70頁まで。
I	95		[メモ]Jung	C. G. Jung, Psychologische Typenの筆写	千葉胤成			メモ	1点(16枚)	
I	96		[メモ]フロイトと精神分析	フロイトの精神分析について整理したノート。	千葉胤成			ノート	1冊(64頁)	
I	97		[メモ]精神分析学の考え方-力域と層-	フロイトの精神分析について整理したノート。	千葉胤成			ノート	1冊(32頁)	
I	98		[原稿]固有意識	固有意識的考察について。	千葉胤成			メモ	1点(14枚)	
I	99		[メモ]茶経詳説 大典禪師	大典禪師「茶経詳説」上下2冊からの抜き書き。	千葉胤成			メモ	1点(11枚)	
I	100		[メモ等 国際心理学者名簿関係]						13点	
I	100	1	[国際心理学者名簿の記入要領等]		日本心理学会		昭和39年8月10日		1点(5枚)	
I	100	2	[国際心理学者名簿の記入要領等]		日本心理学会		昭和31年		1点(4枚)	
I	100	3	Vom 7. PsychologenKongreß zu Marburg					メモ	1点(2枚)	
I	100	4	[研究者 生誕年表]		sato koji		1966年	タイプ印刷物	1点(1枚)	
I	100	5	[メモ]Psychologische Institut (Deutschland u.Oestereich)					メモ	1点(1枚)	
I	100	6	BIBLIOGRAPHIC LISTING	図書目録	千葉胤成			複写物	1冊(5枚)	
I	100	7	[人名リスト]					メモ	1点(8枚)	
I	100	8	[メモ 千葉胤成業績目録・年譜作成関係]					メモ	6点	
I	101		[原稿]人間の発達						2点	
I	101	1	[原稿]人間の発達	(4)幼児期<4-1知覚生活、4-2表象、4-3思惟生活>。	千葉胤成			メモ	1冊(57枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／用紙右上に頁番号があり、1頁より50頁まで。
I	101	2	[資料]人胎児発育の模型図	大童典夫が作図した人胎児発育の模型図／千葉が大童に依頼したもので、研究の参考資料としたか／送り状1通、図12枚。	仙台市北五番丁 大童典夫	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成		メモ	1点(13枚)	
I	102		(原稿)新教育の基礎としての二大心理学的問題		千葉胤成			メモ	1冊(147枚)	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「Ⅲ3.49新教育の基礎としての二大心理学的問題(1)第1 精神の発達／同(2)第2 個性の問題」とある。
I	103		[sander(ザンデル)氏写真]					写真	1点(1枚)	
I	104		[日本心理学会年会費払込票]				昭和47年		1点(1枚)	
I	105		(業績一覧および業績送付先一覧)						7点	
I	105	1	BIBLIOGRAPHIC LISTING by Tanenari Chiba	千葉胤成の業績目録の英語版。	千葉胤成			複写物	1冊(5枚)	
I	105	2	[原稿]BIBLIOGRAPHIC LISTING by Tanenari Chiba	千葉胤成の業績目録の英語版の原稿。	千葉胤成				1冊(6枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
I	105	3	[原稿]業績目次(1)―(2)	千葉胤成の業績目録。	千葉胤成				1冊(11枚)	
I	105	4	業績送付先一覧(国内と国外)		千葉胤成				1冊(8枚)	
I	105	5	[メモ等]						3点(3枚)	
II			東北帝国大学法文学部関係	千葉胤成が昭和12年～15年まで勤めた東北帝大法文学部の授業学科目・生徒一覧など。	東北帝国大学法文学部		大正12年～昭和14年		34点	
II	1	+	東北帝国大学法文学部授業学科目表		東北帝国大学法文学部		大正14年～昭和9年		10点	
II	1	1	大正十四年度授業科目用書、単位、学年、学期、時間、担任者予定表		東北帝国大学法文学部		大正14年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	2	大正十五年度授業科目表		東北帝国大学法文学部		大正15年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	3	昭和二年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和2年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	4	昭和三年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和3年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	5	昭和四年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和4年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	6	昭和五年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和5年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	7	昭和六年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和6年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	8	昭和七年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和7年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	9	昭和八年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和8年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	1	10	昭和九年度授業学科目表		東北帝国大学法文学部		昭和9年度	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	+	東北帝国大学法文学部授業時間表		東北帝国大学法文学部		大正15年～昭和14年		17点	
II	2	1	法文学部第一学年授業時間別表		東北帝国大学法文学部			活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	2	法文学部第二学年授業時間別表		東北帝国大学法文学部			活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	3	法文学部第三学年授業時間別表		東北帝国大学法文学部			活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	4	大正十五年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		大正15年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	5	昭和二年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和2年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	6	昭和三年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和3年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	7	昭和四年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和4年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	8	昭和五年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和5年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	9	昭和六年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和6年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	10	昭和七年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和7年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	11	昭和八年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和8年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	12	昭和九年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和9年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	13	昭和十年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和10年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	14	昭和十一年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和11年4月	活字印刷物	1点(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
II	2	15	昭和十二年度法文学部第一、二、三学年授業時間表		東北帝国大学法文学部		昭和12年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	16	昭和十三年度法文学部第一、二、三学年時間表		東北帝国大学法文学部		昭和13年4月	活字印刷物	1点(1枚)	
II	2	17	昭和十四年度法文学部第一、二、三学年時間表		東北帝国大学法文学部		昭和14年	活字印刷物	1点(1枚)	
II	3	+	東北帝国大学法文学部学生生徒一覧		東北帝国大学法文学部		大正12年～昭和12年		5点	
II	3	1	東北帝国大学法文学部学生一覧		東北帝国大学法文学部		大正12年	活字印刷物	1点(1枚)	
II	3	2	東北帝国大学法文学部学生生徒一覧表		東北帝国大学法文学部		大正13年5月1日	活字印刷物	1点(1枚)	
II	3	3	東北帝国大学法文学部学生生徒一覧		東北帝国大学法文学部		昭和5年5月1日	活字印刷物	1点(1枚)	
II	3	4	東北帝国大学法文学部学生生徒一覧		東北帝国大学法文学部		昭和9年5月1日	活字印刷物	1点(1枚)	
II	3	5	東北帝国大学法文学部学生生徒一覧		東北帝国大学法文学部		昭和12年5月1日	活字印刷物	1点(1枚)	
II	4		東北帝大創立廿五周年記念心理学研究室供覧目録					活字印刷物	1点(1枚)	
II	5		狩野文庫分類表案				昭和8年2月	活字印刷物	1点(1枚)	
III			宮城県教育研究所関係	千葉胤成が昭和23年12月～24年7月まで勤めた宮城県教育研究所に関する文書。			昭和24年		5点	
III	1	+	〔宮城県教育研究所の概要〕	宮城県教育研究所の要項等。	千葉胤成		昭和24年頃		3点	
III	1	1	〔研究所の歩み〕	(1)研究所の生誕、(2)研究所の使命、(3)研究所の生立ち、(4)研究所の使命達成のための重点。	千葉胤成		昭和24年頃	原稿用紙	1点(1枚)	
III	1	2	〔宮城県教育研究所の要項〕	1. 規程、2. 事務分掌、3. 研究調査、4. 渉外、5. 行事、6. 挨拶／研究調査題。	千葉胤成		昭和24年頃	罫紙	1点(3枚)	
III	1	3	〔宮城県教育研究所の所員名〕	11名。	千葉胤成			罫紙	1点(1枚)	
III	2		宮城県研究所『所報』No.4	所長千葉胤成『研究生活における心構えと気構え—研究の仕方の立場と行き方—』ほか。	宮城県教育研究所		昭和24年5月25日	活字印刷物	1部(10頁)	
III	3		〔原稿〕宮城県教育研究所の発足に際して—教育研究所の使命—	表紙に「55.宮城県教育研究所／発足二際ニ際テ—教育研究所の使命—/昭24.2.25.原14(15)」とある／1～15頁まで／1本研究所設立の意義、2研究所の根本的心構え、3研究の仕方、4研究者の気構え、5本研究所の使命。	千葉胤成		昭和24年2月25日	メモ	1冊(16枚)	
IV			新潟大学教育学部関係	千葉胤成が昭和24年～28年まで勤めた新潟大学教育学部の文書で、主に式典等での挨拶の原稿。	千葉胤成		昭和24年～28年		27点	
IV	1		〔原稿〕教員養成機関としての教育学部の使命及使命達成の方途について	新潟大学教育学部長千葉胤成より文部省大学学術局長宛、教育学部長会議における新潟大学提出の協議事項および質疑事項の原稿／表紙に「103.教員養成機関としての教育学部(学芸学部又ハ学芸大学)の使命及使命達成の方途について/昭24.8.20.原16(13)」とある。	千葉胤成		昭和24年8月20日	罫紙	1点(16枚)	
IV	2		〔原稿〕人文科学研究者懇談会に因みて	ノートをメモ用紙状に裁断した紙に記載／表紙に「104.人文科学研究者懇談会に因みて/昭25.10.24.原7(7)」とある／頁番号があり、7頁まで／1はしがき、2大学の使命、3研究の方向、4施設と予算、5むすび。	千葉胤成		昭和25年10月24日	メモ	1冊(9枚)	
IV	3	+	〔挨拶原稿〕	講話等の原稿。	千葉胤成		昭和25年～昭和28年		20点	
IV	3	1	〔挨拶原稿 健康週間行事での挨拶〕	1. 長命必ずしも健康ならず、2. 健康保持の条件、3. 「天行健君子以自強不息」	千葉胤成		昭和25年	罫紙	1点(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
IV	3	2	[挨拶原稿 師範学校卒業生への挨拶]	1, 師範学校の当初とその後—八十年の歴史、2, 県内各地小中学校—今日の目出たい門出に臚。	千葉胤成		昭和25年3月17日	罫紙	1点(3枚)	
IV	3	3	[挨拶原稿 女子師範学校卒業生への挨拶]	1, らしく、2, 愚かになれ、3, 女教員の活動の広さ。	千葉胤成		昭和25年3月20日	罫紙	1点(1枚)	
IV	3	4	[挨拶原稿 入学式・大学にての授業終了懇話会での挨拶]	1, 入学式に際し、2, 臚 前述の懇話会の際の四人の教官の四つの方面からの注文、3, 県・大学の祝詞。	千葉胤成		昭和25年7月15日	罫紙	1点(1枚)	
IV	3	5	[挨拶原稿 師範学校卒業生への挨拶]	1, 師範学校の回顧、2, 新卒業生に望む。	千葉胤成		昭和26年3月20日	罫紙	1点(3枚)	
IV	3	6	[挨拶原稿 教育学部教官・教職員への挨拶]	表裏両面を利用しており、1面に「教育学部教官のために」(新制といへども大学は大学)、もう1面に「教育学部教職員のために」(1, 教育学部の開設、2, 教官・職員・学生・生徒の一体、3, 日堂の誓め)がある。	千葉胤成		昭和26年4月16日	メモ	1点(1枚)	
IV	3	7	[挨拶原稿 後期入学式での挨拶]昭和二六年度進入学生のために	1, 諸君は人生の花、2, 諸君への希望、3, 個人として国としての反省。	千葉胤成		昭和26年4月16日	罫紙	1点(6枚)	
IV	3	8	[挨拶原稿 初等教育研究会での挨拶]		千葉胤成		昭和26年5月29日	罫紙	1点(1枚)	
IV	3	9	[挨拶原稿 後期入学式での挨拶]	1, 学業を修めるに際して心がけること、2, 私を空しくして謙虚な心構えを持つこと、3, 本学部の施設・教官、4, 二期生に求めること、5, 教員になることへの自覚。	千葉胤成		昭和27年4月1日	罫紙	1点(4枚)	
IV	3	10	[挨拶原稿 附属中学入学式での挨拶]	1, 中学校の3年間、2, 入学に際して求めること。	千葉胤成		昭和27年4月9日	罫紙	1点(1枚)	
IV	3	11	[挨拶原稿 附属小学校入学式での挨拶]		千葉胤成		昭和27年4月9日	罫紙	1点(1枚)	
IV	3	12	[挨拶原稿 新大教育学部付属小主催 初等教育研究集会での挨拶]		千葉胤成		昭和27年5月29日	罫紙	1点(4枚)	
IV	3	13	[挨拶原稿 新潟大学分校修了式での挨拶]	1, 物事を正しく見そこから真実を探る、2, 吾人は須らく現代を超越せざるべからず、3, 広く経験し深く体得せよ、4, 身についたものへ。	千葉胤成		昭和28年3月16日	罫紙	1点(2枚)	
IV	3	14	[挨拶原稿 高田分校卒業並に修了式での挨拶]	1, 青年期について、2, 一生の仕事の基礎の出来る時期、3, 広く経験し深く体得すること。	千葉胤成		昭和28年3月18日	罫紙	1点(2枚)	
IV	3	15	[挨拶原稿 長岡分校卒業並に修了式での挨拶]	1, 世に存するもので無用なものはない、2, 短所即長所、3, 京都の女学校校長の事例、4, 教えるは教えられる、5, 家政学科の重要性。	千葉胤成		昭和28年3月19日	罫紙	1点(3枚)	
IV	3	16	[挨拶原稿 教育学部謝恩会での挨拶]	1, 新制地方大学学生の出身県、2, 新潟県人の特徴、3, 新潟大学とその卒業生の役割。	千葉胤成		昭和28年3月20日	罫紙	1点(2枚)	
IV	3	17	[挨拶原稿 教育学部謝恩会での挨拶]	1, 自らする自らのための自らの教育、2, 経験し体得すること、3, 県内各地学校に赴任されるにあたって、4, 教育することは教育されること、5, 剛く正しく。	千葉胤成		昭和28年3月20日	罫紙	1点(4枚)	
IV	3	18	[メモ]		千葉胤成				3点(3枚)	
IV	4	+	[好風寮命名関係書類]	新潟大学の学生寮の命名関係。			昭和26年11月		5点	
IV	4	1	千葉胤成「好風寮」・阿部政太郎「好風寮の名づけ親」					ガリ版印刷物	1点(2枚)	
IV	4	2	[新聞切り抜き]好風寮と命名	「日報二六・一一・一一」とある。			昭和26年11月1日	新聞切り抜き	1点(1枚)	
IV	4	3	[メモ]好風好風	友梅についてのメモ。				メモ	1点(1枚)	
IV	4	4	[メモ]友梅	友梅についてのメモ。				メモ	1点(1枚)	
IV	4	5	北越詩話巻一〔部分〕	北越詩話巻一1~11頁までの複写物。				複写物	1点(6枚)	
V			学会関係	日本心理学会・日本理論心理学会の運営に関する文書。			昭和27年~昭和45年		50点	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
V	1		[日本心理学会関係]	日本心理学会の組織・運営に関する会議等の資料。			昭和27年～昭和34年		39点	
V	1	+	[日本心理学会改組案関係]				昭和27年5月		4点	
V	1	1	1 [メモ 日本心理学会組織案についての説明原稿]		千葉胤成			メモ	1点(5枚)	
V	1	1	2 [メモ]日本心理学会改組について	1心理学徒として感ずる不都合・不便な点、2改組一案、3心理学徒の頭の改組。	千葉胤成			メモ	1点(4枚)	
V	1	1	3 [メモ]心理学会改革案		千葉胤成		昭和27年5月	メモ	1点(1枚)	
V	1	1	4 [メモ]心理学会改革案		千葉胤成			メモ	1点(1枚)	
V	1	2	日本心理学会組織研究委員会委員委嘱についての御願い		日本心理学会会長 古賀行義	千葉胤成	昭和32年12月25日	タイプ印刷物	1通(1枚)	
V	1	3	+	日本心理学会組織研究委員会議事録			昭和33年1月～4月		6点	
V	1	3	1	日本心理学会組織研究委員会第一回全体会議議事録			昭和33年1月17日	ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	3	2	日本心理学会組織研究委員会第一回全体会議議事録(追)	三木・松村			ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	3	3	組織研究委員会第二回全体会議議事録			2月15日	ガリ版印刷物	1点(2枚)	
V	1	3	4	組織研究委員会第三回全体会議議事録			昭和33年4月5日	ガリ版印刷物	1点(3枚)	
V	1	3	5	日本心理学会組織研究委員会第三回全体会議資料 自主統合案に関する意見				ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	3	6	組織研究委員会第四回全体会議議事録				ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	4	+	[議事参考資料等]			昭和33年～昭和34年		28点	
V	1	4	1	現存の各種心理学会を改称し学会を一本化する案	三木		1958年4月5日	ガリ版印刷物	1点(5枚)	
V	1	4	2	日本心理学会改組要綱(古武一兼子)案	古武・兼子		1958年4月1日	ガリ版印刷物	1点(2枚)	
V	1	4	3	年間大会開催回数に関するアンケート結果ノ運営委員会資料	日本応用心理学会		昭和33年3月29日	ガリ版印刷物	1点(2枚)	
V	1	4	4	[刊行物の発行部数と発行学会の会員数の比較表]	心理学研究(日本心理学会)・社会学評論(日本社会学会)・journal of the mathematical society of Japan(日本数学会)を比較する表。			ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	4	5	日本心理学会会則			昭和29年5月4日	活字印刷物	1冊(7頁)	
V	1	4	6	ドイツの心理学会の状況についての盛永四郎氏よりの書簡				ガリ版印刷物	1点(1枚)	
V	1	4	7	英国心理学会について	3～4頁欠。	芋阪良二		ガリ版印刷物	1点(3頁)	
V	1	4	8	BY-LAWS FOR THE AMERICAN PSYCHOLOGICAL ASSOCIATION				タイプ印刷物	1点(1枚)	
V	1	4	9	資料1 ソ連における心理学会の組織について	松野豊		1月29日	ガリ版印刷物	1冊(4頁)	
V	1	4	10	資料2 社団法人日本医師会定款・日本医学会関係施行規則				ガリ版印刷物	1冊(4頁)	
V	1	4	11	資料3 社団法人日本物理学会定款				ガリ版印刷物	1冊(11頁)	
V	1	4	12	資料4 社団法人応用物理学会定款				ガリ版印刷物	1冊(5頁)	
V	1	4	13	日本心理学会改組に伴う事業計画の概要	千葉胤成		昭和33年3月	ガリ版印刷物	1点(4枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
V	1	4	14	[改組各案比較表]	千葉案(革新統合案)・三木案(全面改組案)・古武兼子案(現状整理案)・松村案(自主統合案)の4案の比較表。			ガリ版印刷物	1点(4枚)	
V	1	4	15	[附表]	第1図～第5図。収支に関する附表。			ガリ版印刷	1点(1枚)	
V	1	4	16	経過報告・答申案		三木安正	日本心理学会組織委員会委員	昭和33年6月24日	ガリ版印刷物	1通(6枚)
V	1	4	17	[委員会の存続について]	答申の一部。				ガリ版印刷	1点(1枚)
V	1	4	18	[メモ]日本心理学会組織委員会について	7月9日の組織委員会(二次会)にて。	千葉胤成		昭和33年7月8日	メモ	1点(2枚)
V	1	4	19	答申(前文の案)	学会の組織改革問題に対する答申。	組織研究委員会委員長 三木安正	日本心理学会会長 古賀行義	昭和34年	ガリ版印刷物	1通(2枚)
V	1	4	20	次回全体会議日程について通知	組織研究委員会継続第一回(通算第六回)全体会議議事録要約。	三木安正		8月27日	ガリ版印刷物	1点(3枚)
V	1	4	21	第6回全体会議における「会則案」に対する各委員の意見					ガリ版印刷物	1点(2枚)
V	1	4	22	日本心理学会会則案					ガリ版印刷	1点(4枚)
V	1	4	23	「会則案」を実施する場合の収支予算案					ガリ版印刷物	1点(2枚)
V	1	4	24	「会則案」を実施する場合の収支予算案					タイプ印刷物	1冊(4頁)
V	1	4	25	「会則案」に対する各委員の意見					タイプ印刷物	1冊(10頁)
V	1	4	26	日本心理学会会則案					タイプ印刷物	1冊(10頁)
V	1	4	27	答申		日本心理学会組織研究委員会委員長 三木安正	日本心理学会会長 古賀行義	昭和34年3月20日	タイプ印刷物	1冊(5頁)
V	1	4	28	答申					ガリ版印刷	1通(3枚)
V	2	+		[日本理論心理学会規約関係]	日本理論心理学会の規約の作成に関する文書。			昭和44年7月19日～昭和45年12月4日		11点
V	2	1		[書簡 第16回理論心理学会・案内]		東北大学教養部理論心理学会事務所「黒田」	千葉胤成	昭和45年	はがき	1通(1枚)
V	2	2		[書簡 理論心理学会 会則案の訂正]	会則案の正誤表および近況。	黒田正典	千葉胤成	昭和45年6月29日	はがき	1通(1枚)
V	2	3		[書簡 理論心理学会会則の作成について]	会則の校正および今後の予定について。	仙台市八木山松が丘 黒田正典	東京都練馬区上石神井 千葉胤成	昭和45年6月28日	封書	1通(4枚)
V	2	4		理論心理学会について	理論心理学会の概要(会費・大会・会報等)。封筒入り。				メモ	1通(2枚)
V	2	5		[書簡 第15回理論心理学会・案内]		東北大学教養部理論心理学会事務所「黒田」	千葉胤成	昭和44年7月19日	はがき	1通(1枚)
V	2	6		[書簡 理論心理学会規約案について]	規約案・送り状。	黒田正典	千葉胤成	昭和45年12月4日	封書	1通(4枚)
V	2	7		日本理論心理学会会則案					複写物	1点(1枚)
V	2	8		建国大学同窓会規約					活字印刷物	1点(1枚)
V	2	9		[メモ]日本理論心理学会規約(案)					メモ	1点(1枚)
V	2	10		[メモ]日本理論心理学会規約(案)	説明(了解事項)含む。				メモ	1点(2枚)
V	2	11		意識の問題	1～2頁まで。部分か。				活字印刷物	1点(1枚)
VI				書簡	千葉胤成著書の恵与に対する礼状。			昭和31年・昭和40年		149点
VI	1	+		『無意識の心理学』恵与に対する礼状等				昭和31年		80点
VI	1	1		[書簡 抜刷恵与に対する礼状]		金沢市泉野町 薄田司	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月14日	はがき	1枚(1通)
VI	1	2		[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		神戸市東灘区住吉町 増田幸一	東京都北多摩郡小平町鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月15日	はがき	1通(1枚)

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	1	3	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		金沢市泉野町 薄田司	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月22日	はがき	1枚(1通)	
VI	1	4	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		新宿区榎町 安倍三郎	北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月22日	封書	1通(3枚)	
VI	1	5	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都豊島区要町 稲富栄次郎	都下北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月24日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	6	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都町田局区内 玉川学園 小原国芳代	北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月24日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	7	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		北区上中里 鈴木宗忠	北多摩郡小平町上鈴木 千葉胤成	昭和31年7月24日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	8	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		群馬県吾妻郡北軽井沢 田辺元	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月25日	封書	1通(3枚)	
VI	1	9	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		京都市左京区田中門前町 住宏平	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月25日	封書	1通(2枚)	
VI	1	10	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		京都市北区小松原北町 植田壽蔵	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月25日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	11	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		大阪市東住吉区田辺西之町 津留宏	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月25日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	12	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		浦和市別所 小山鞆絵	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月25日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	13	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都世田谷区松原町 八田三蔵	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月26日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	14	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		南多摩郡鶴川村大蔵 早坂泰次郎	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月26日	封書	1通(2枚)	
VI	1	15	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		千葉県姉崎町台 多田等観	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月26日	封書	1通(1枚)	
VI	1	16	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		新潟市西大畑町 斎藤悟郎	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月26日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	17	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都三鷹市新川 大森志郎	小平町鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月26日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	18	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		金沢市長坂 定孝一	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(4枚)	
VI	1	19	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		仙台市北六番丁 阿部満洲	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	20	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		広島市牛田町 古賀行義	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(2枚)	
VI	1	21	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		大阪市阿倍野区相生通 橘覚勝	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	22	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		新潟市山ノ下秋葉通 黒田正典	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(3枚)	
VI	1	23	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		港区麻布飯倉片町 印東太郎	北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(2枚)	
VI	1	24	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		新潟市上所島 松宮周郎	東京都北多摩郡小平町鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	25	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都世田谷区深沢町 松本金壽	東京都北多摩郡小平町鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	26	〔書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状〕		東京都杉並区西荻窪 植松正	東京都小平町 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	1	27	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		東京都杉並区永福町 安藤瑞夫	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(2枚)	
VI	1	28	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		東京都文京区大塚町 波多野勤子	北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	29	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市花壇川前丁林口二	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	30	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		新潟市秋葉通 齋藤國夫	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	31	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		横浜市神奈川区飯田町 笹本至心	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月27日	封書	1通(3枚)	
VI	1	32	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市北五番丁 大脇義一	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月28日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	33	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		新潟市旭町 加藤謙	東京都北多摩郡小平町上鈴木 千葉胤成	昭和31年7月28日	封書	1通(3枚)	
VI	1	34	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		京都市右京区川島町 正木正	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月28日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	35	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		千葉市登戸町 盛永四郎	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月28日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	36	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		東京都武蔵野町吉祥寺 天野貞祐	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月28日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	37	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		逗子市小坪 田中秀雄	東京都北多摩郡小平町鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月28日	封書	1通(1枚)	
VI	1	38	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		岐阜県吉城郡國府村八日町 山本健造	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月29日	封書	1通(3枚)	
VI	1	39	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		東京都渋谷区代々木深町 村上瑚磨雄	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月29日	封書	1通(3枚)	
VI	1	40	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市越路六件丁 陶山務	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月29日	封書	1通(3枚)	
VI	1	41	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		新潟市二葉町 坂口献吉	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月29日	封書	1通(5枚)	
VI	1	42	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市北田 佐武安太郎	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月29日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	43	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		京都市北区小山北大野町 住田勝美	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月29日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	44	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		金沢市泉野町 薄田司	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月29日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	45	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		神戸大学教育学部 増田幸一	東京都北多摩郡上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月30日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	46	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市北七番丁 栗林宇一	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	昭和31年7月30日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	47	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		京都市左京区松ヶ崎 泉川町 三宅剛一	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月30日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	48	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		仙台市北六番丁 北村時朗	東京都北多摩郡小平町鈴木 千葉胤成	昭和31年7月30日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	49	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状・近況〕		新潟県東蒲原郡白崎局区内三川村五十沢 荒瀬精一	東京都北多摩郡小平町上鈴木 千葉胤成	昭和31年7月31日	封書	1通(6枚)	
VI	1	50	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		新潟市朝日町 加藤謙	東京都北多摩郡小平町上鈴木 千葉胤成	昭和31年7月31日	封書	1通(1枚)	
VI	1	51	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状〕		大阪府池田市尊鉢 天野利武	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年7月4日	封書	1通(2枚)	
VI	1	52	〔書簡 千葉胤成〔無意識の心理学〕恵与に対する礼状・近況〕		高田市西城町 相沢陸奥男	東京都北多摩郡小平町上鈴木新田 千葉胤成	8月1日	封書	1通(3枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	1	53	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		京都市北区紫野下 若草町 後藤金十郎	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月10日	封書	1通(2枚)	
VI	1	54	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		新潟市上所島 渡辺 市郎	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月13日	封書	1通(3枚)	
VI	1	55	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		大阪府城東区蒲生 町 石原岩太郎	東京都北多摩郡小 平町鈴木 千葉胤成	昭和31年8月15日	封書	1通(4枚)	
VI	1	56	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		東京都新宿区柏木 吉田慶助	北多摩郡小平町上 鈴木新田 千葉胤成	昭和31年8月15日	封書	1通(3枚)	
VI	1	57	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		新潟県中蒲原郡亀 田町舟戸山 石本洪	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月15日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	58	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		仙台市長町大窪谷 地 安倍淳吉	東京都北多摩郡小 平町鈴木 千葉胤成	昭和31年8月17日	封書	1通(1枚)	
VI	1	59	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		東京都世田谷区舟 橋町 久保艶子	北多摩郡小平町上 鈴木新田 千葉胤成	昭和31年8月18日	封書	1通(3枚)	
VI	1	60	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		豊島区雑司方谷 兼 常清佐に代って宮内 玉子	北多摩郡小平町上 鈴木新田 千葉胤成	昭和31年8月19日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	61	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		稲垣光久	東京府下北多摩郡 小平町鈴木 千葉胤 成	昭和31年8月19日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	62	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		旭川市北門町 山崎 久蔵	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月1日	封書	1通(1枚)	
VI	1	63	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		神奈川県藤沢町鶴 沼 加藤仁平	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月1日	封書	1通(2枚)	
VI	1	64	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		水戸市柳小路 大場 千秋	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月1日	封書	1通(2枚)	
VI	1	65	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		北沢 暉峻義等	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月20日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	66	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		福井県遠敷郡上中 町山内 羽溪了諦	東京都北多摩郡小 平町鈴木新田 千葉 胤成	昭和31年8月20日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	67	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		宇都宮市西原町 太 田代元彦	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月22日	封書	1通(3枚)	
VI	1	68	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		新宿五百人町 島崎 敏樹	北多摩郡小平町 千 葉胤成	昭和31年8月2日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	69	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		都内豊島区千早町 木村禎司	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月2日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	70	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		仙台市花壇川前町 新明正道	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月31日	封書	1通(3枚)	
VI	1	71	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		京都市下京区不明 門七条 藤澤乙夫	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年8月31日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	72	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		仙台市北一番丁 村 上沢子	東京都北多摩郡小 平町 千葉胤成	昭和31年8月3日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	73	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		福岡市箱崎小松町 秋重義治	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年9月16日	封書	1通(2枚)	
VI	1	74	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状・近況]		神戸市住吉町 岡本 重雄	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年9月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	75	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		世・代田 相馬恵美 子	東京都北多摩郡小 平町上鈴木新田 千 葉胤成	昭和31年9月3日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	76	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		仙台市片平丁 金倉 圓照	東京都北多摩郡小 平町上鈴木 千葉胤 成	昭和31年9月9日	封書	1通(2枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	1	77	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		東京都品川区中延 懸田克躬	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年10月1日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	78	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		仙台市片平丁東北 大学文学部研究室 内 木場深定	東京都北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年10月2日	封書	1通(2枚)	
VI	1	79	[書簡 千葉胤成『無意識の心理学』恵与に対する礼状]		東京渋谷区代々木 西原町 伊藤杏之助	都内北多摩郡小平町 千葉胤成	昭和31年10月5日	はがき	1通(1枚)	
VI	1	80	[書簡 東京学芸大学長就任挨拶]		東京学芸大学長 村上俊亮		昭和31年10月			挨拶状の裏に、「無意識の心理学関係」と朱書き、102-1~102-79とともに一括。
VI	2	+	『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状等				昭和40年~昭和41年		69点	
VI	2	1	[書簡 千葉胤成著書の献本 教 学生運動・石津学長辞職]		仙台市北六番町 北村晴朗	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年9月22日	封書	1通(3枚)	
VI	2	2	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状、残暑見舞い]		東京都世田谷区成城町 宮本正尊	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年9月12日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	3	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		東京都武蔵野市吉祥寺東町 天野貞祐	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年9月26日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	4	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』献本数などについて]		新潟市寺尾新町 黒田正典	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年9月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	5	[書簡 千葉胤成著書恵与に対する礼状]		仙台市花壇 小林淳男	練馬区上石神井 千葉胤成	9月28日	封書	1通(1枚)	
VI	2	6	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		京都市上京区塔之段桜木町 佐藤幸治	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年9月29日	封書	1通(1枚)	
VI	2	7	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		目黒区三谷町 依田新	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月3日	封書	1通(2枚)	
VI	2	8	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		仙台市長町越路 陶山務	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	封書	1通(2枚)	
VI	2	9	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		神奈川県藤沢市鶴沼海岸 加藤仁平	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	10	[加藤仁平の論文抜刷等]		神奈川県藤沢市鶴沼 加藤仁平	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	封書	2点	
VI	2	10	1 [論文抜刷]加藤仁平「京大・滝川事件に関する一考察」とくに「生きた歴史の証言」の危険性について一	『歴史教育』13(2)	加藤仁平	千葉胤成	昭和40年2月1日	冊子	1冊(10頁)	
VI	2	10	2 加藤仁平「教育者小西重道の生涯」		加藤仁平	千葉胤成		複写物	1通(3枚)	手書き資料の複写。
VI	2	11	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		世田谷区給田町 奥津彦重	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月4日	封書	1通(6枚)	
VI	2	12	[書簡 千葉胤成著書恵与に対する礼状]		市川市平田町 麻生磯次	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	13	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		新宿区西大久保 坂崎坦	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月6日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	14	[書簡 千葉胤成著書恵与に対する礼状]		東京都武蔵野市御殿山 古川久	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	封書	1通(1枚)	
VI	2	15	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		東京都世田谷区羽根木 城戸幡太郎	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月6日	封書	1通(2枚)	
VI	2	16	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		練馬区下石神井 富木謙治	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月6日	封書	1通(2枚)	
VI	2	17	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		京都市左京区南禅寺草川町 真々庵 松下幸之助	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月7日	封書	1通(2枚)	
VI	2	18	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		東京都世田谷区祖師谷 重松信弘	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月5日	封書	1通(1枚)	
VI	2	19	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		東京都杉並区百秋 北 植松正	練馬区上石神井 千葉胤成	10月6日	封書	1通(2枚)	
VI	2	20	[書簡 千葉胤成『日本芸術のこころ』恵与に対する礼状]		京都市右京区櫻原角田町 後藤金十郎	練馬区上石神井 千葉胤成	昭和40年10月7日	はがき	1通(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	2	21	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』に対する礼状]		札幌市北26条西8丁 目 山崎久蔵	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月8日	封書	1通(2枚)	
VI	2	22	[書簡 千葉胤成著書に対する 感想]		札幌市北26条西8丁 目 山崎久蔵	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月10 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	23	[書簡 千葉胤成著書に対する 感想]		札幌市北26条西8丁 目 山崎久蔵	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月12 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	24	[書簡 当大学図書館へ千葉 胤成著書納入の依頼]		札幌市北26条西8丁 目 山崎久蔵	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月14 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	25	[書簡 千葉胤成著書に対する 感想]		札幌市北26条西8丁 目 山崎久蔵	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月26 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	26	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		仙台市長町大窪谷 地 安倍淳吉	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月8日	封書	1通(2枚)	
VI	2	27	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		世田谷区三宿 高村 祥雄	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月9日	封書	1通(2枚)	
VI	2	28	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		三鷹市新川 大森志 郎	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年12月8日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	29	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		日野市平山 安倍三 郎	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月7日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	30	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		神戸市東灘区住吉 町宮守堂 岡本重雄	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月8日	封書	1通(2枚)	
VI	2	31	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		大阪府東城区深江 西 林宏充	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月9日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	32	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		練馬区大泉町 村上 巖	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月9日	封書	1通(1枚)	
VI	2	33	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		仙台市二十人町 佐々久	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月9日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	34	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		新潟市上所島 松宮 周郎	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月10 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	35	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		三重県一志郡久居 町万町 稲垣光久	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月11 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	36	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		中野区柴町 築島謙 三	練馬区上石神井 千 葉胤成	10月12日	封書	1通(4枚)	
VI	2	37	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		宮城県黒川郡大和 町升沢 相馬勇	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月11 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	38	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		新潟縣柏崎市石曾 根 荒瀬慎一	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月15 日	封書	1通(4枚)	
VI	2	39	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		東京都上京区室町 中立売下ル 久松真	東京都文京区大塚 窪町 誠信書房	昭和40年9月29日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	40	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		東京都大田区馬込 町東 懸田克躬	東京都文京区大塚 窪町 誠信書房気付 千葉胤成	昭和40年9月25日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	41	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状およ び近況]		京都市上京区塔ノ段 藪下町 高田保馬	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月14 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	42	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		杉並区下井草 石田 保	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月20 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	43	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		世田谷区新町 金倉 圓照	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月21 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	44	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		港区麻布笄町 寺澤 孝誠	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月22 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	45	[書簡 千葉胤成著書恵与に 対する礼状]		品川区北品川 平泉 澄	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月22 日	封書	1通(1枚)	
VI	2	46	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		大阪市阿倍野区相 生通 橘覚勝	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月22 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	47	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		佐久間	練馬区上石神井町 千葉胤成	昭和40年10月24 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	48	[書簡 贈物に対する礼状]		新潟市二葉町 坂口 献吉	練馬区上石神井 千 葉胤成	1965年10月24日	封書	1通(3枚)	
VI	2	49	[書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状]		仙台市半子町 三澤 寛一	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月25 日	はがき	1通(1枚)	

新	番	号	資料名	内容	作成・発信者	宛所	年代	形態	数	備考
VI	2	50	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		目黒区上目黒 馬場 明男	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月25 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	51	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		西宮市甲東園 今田 恵	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月25 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	52	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		豊島区千早町 木村 禎司	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月23 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	53	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状およ び近況〕	近況はドイツでの滞在について。	神奈川県大磯町大 磯字前谷原 三宅剛 一	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月26 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	54	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		調布市飛田給町 安 藤公平	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和40年10月27 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	55	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		仙台市外記丁通 松 本金蔵	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月27 日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	56	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		鎌倉市大町 古賀行 義	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月30 日	封書	1通(2枚)	
VI	2	57	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		京都市中京区裏寺 町蛸薬師上ル 大脇 義一	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月29 日	封書	1通(4枚)	
VI	2	58	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状・教 育心理学会出席の依頼〕		新潟市旭町 加藤謙	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年10月30 日	封書	1通(3枚)	
VI	2	59	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		鎌倉市二階堂 梅津 八三	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年11月3日	封書	1通(3枚)	
VI	2	60	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		千葉県柏市緑ヶ丘 村中兼松	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年11月4日	封書	1通(2枚)	
VI	2	61	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		新潟市朝日町 加藤 謙	東京都文京区大塚 窪町 誠信書房	昭和40年9月27日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	62	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		都内練馬区東七泉 町 新明正道	都内練馬区上石神 井 千葉胤成	昭和40年11月7日	封書	1通(3枚)	
VI	2	63	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		神戸市東灘区住吉 町 岡本重雄	東京都練馬区上石 神井 千葉胤成	昭和40年12月1日	はがき	1通(1枚)	
VI	2	64	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』ほか恵与に対する礼 状〕	千葉『日本芸術のこころ』および千葉「再び 「気」について」別刷恵与に対するお礼。	北多摩郡久留米町 南沢 恩田彰	千葉胤成	10月20日	罫紙	1通(3枚)	
VI	2	65	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与などに対する礼 状〕	葬儀列席に対するお礼、千葉『日本芸術の こころ』および千葉「再び「気」について」別刷 恵与に対するお礼。	東京都港区麻布飯 倉片町 印東太郎	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和41年10月4日	封書	1通(2枚)	
VI	2	66	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		仙台市旭ヶ丘 木嶋 深定	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和41年10月7日	封書	1通(3枚)	
VI	2	67	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		世田谷区代田 相馬 恵美子	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和41年10月12 日	封書	1通(4枚)	
VI	2	68	〔書簡 千葉胤成『日本芸術の こころ』恵与に対する礼状〕		港区芝三田 東季彦	練馬区上石神井 千 葉胤成	昭和41年10月24 日	封書	1通(3枚)	